

令和3年度 事業報告

- ・ 法人本部
- ・ ふじの木園（支援施設）
- ・ ふじの木園（相談事業）
- ・ ときわ作業所
- ・ ときわホーム
- ・ 小規模授産施設
- ・ あゆみ

令和3年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

1. 法人の概況

事務局所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 50-7555
代表者職氏名	: 理事長 春日井 昌市
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

令和4年3月31日現在

社 会 福 祉 事 業	第一種	施設種別： 障害者支援施設（生活介護・施設入所支援） 名 称： ふじの木園（定員50名） 施設長名： 春日井 昌市
	第二種	事業種別： 障害福祉サービス事業（生活介護） 名 称： ときわ作業所（定員55名） 施設長名： 佐藤 和弥
		事業種別： 地域活動支援センター（Ⅱ型）【江南市指定管理】 名 称： 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ（定員25名） 施設長名： 春日井 裕美
		事業種別： 地域活動支援センター（Ⅲ型）【江南市指定管理】 名 称： 江南市心身障害者小規模授産施設（定員概ね15名） 施設長名： 佐藤 和弥
		事業種別： 障害福祉サービス事業（短期入所） 名 称： ふじの木園（定員5名） 施設長名： 春日井 昌市
		事業種別： 障害福祉サービス事業（共同生活援助（介護サービス包摂型グループホーム）） 名 称： ときわホーム「ニコット」（定員6名） 施設長名： 佐藤 和弥
		事業種別： 障害福祉サービス事業（特定相談支援） 名 称： ふじの木園 施設長名： 春日井 昌市
事 公 業 益	事業種別： 貸館事業【江南市指定管理】 名 称： 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ（定員25名） 施設長名： 春日井 裕美	

3. 職員数

令和4年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別	施設長	副施設長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
ふじの木園	施設生活介護 短期入所支援	常勤	正規	1 (1)	1 (1)	1	2	1	19	2				27 (2)	36 (2)	
			契約													0 (0)
		非常勤							9							9 (0)
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)	1 (1)				2						4 (2)	4 (2)
			契約												0 (0)	
		非常勤													0 (0)	
ときわ作業所	生活介護	常勤	正規	1 (1)		1 (1)			7 (7)	1				10 (9)	23 (13)	
			契約						4 (2)					4 (2)		
		非常勤					2 (2)		7					9 (2)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)		1 (1)			7 (7)				※7	9 (9)	18 (12)	
			契約						※1				2 (2)	2 (2)		
		非常勤							4 (1)				3 ※2	7 (1)		
小規模	地域活動支援 センター (Ⅲ)型	常勤	正規	1 (1)					2					3 (1)	6 (2)	
			契約						1	1 (1)				2 (1)		
		非常勤							1					1 (0)		
あゆみ	地域活動支援 センター (Ⅱ)型	常勤	正規	※1					2					2 (0)	10 (2)	
			契約						1	1 (1)				2 (1)		
		非常勤					2 (1)		3			1		6 (1)		

法人事務局	雇用別		事務局長	事務局参事	事務局次長	事務主幹	事業主幹	事業員	事務員					計	合計	
	常勤	正規	(1)		(2)		(2)	(1)	(3)						0 (9)	0 (9)
		契約													0 (0)	
非常勤														0 (0)		

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の（ ）は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務
- ・ふじの木園常勤支援員19名は育児休業中の2名を含む

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

ア 社会福祉法人等の指導監査（愛知県）

監査実施日	令和3年8月10日
監査方法	書面監査
監査対象事項	障害者支援施設 ふじの木園（運営・経理）
監査実施官庁	愛知県福祉局福祉部福祉総務課 監査指導室法人監査グループ

指示事項	履行状況
令和3年10月12日付 愛知県福祉局長 3福総第294-21号 監査対象：ふじの木園 監査結果：指摘事項なし	

イ 指定特定相談支援事業者等実地指導（江南市）

監査実施日	令和4年2月2日
監査方法	書面指導
監査対象事項	特定相談支援事業所ふじの木園（運営・経理）
監査実施官庁	江南市健康福祉部 福祉課 障害者支援グループ

指示事項	履行状況
令和4年2月14日付 江南市長 3江福第374-3号 監査対象：ふじの木園 監査結果 (契約) ・指定計画相談支援の利用に係る契約をしたときは、その旨を市に対し遅延なく報告すること (運営規程) ・運営規定等の書類について、所要の整備を図ること（表記の修正）	(契約) ・計画相談支援契約内容報告書を次回の契約より市に提出していくことを報告した。 (運営規程) ・令和4年3月に一部改正した。 令和4年4月1日より施行。

5. 契約に関する事項

令和4年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目的	期間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場 美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成29年 4月 1日 (平成14年4月1日)	滝 敏美	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤 昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森 博一	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

令和4年3月31日現在

寄付の目的	寄付者 (敬称略)	件数 件	金額 円
法人本部	ふじの木園保護者会	1件	42,000円
	ときわ・小規模保護者会	1件	42,000円
	小川淳子	1件	1,000,000円
	小 計	3件	1,084,000円
ふじの木園	小林孝恵	1件	30,000円
	森内敏子	1件	30,000円
	石原美代子	1件	8,000円
	ふじの木園保護者会	2件	3,222,000円
	匿名	2件	150,000円
	小 計	7件	3,440,000円
ときわ作業所	長谷川豊	6件	72,000円
	脇田博文	1件	92,000円
	小 計	7件	164,000円
合 計		17件	4,688,000円

7. 資産（土地・建物）の状況

令和4年3月31日現在

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況			抵当権設定 年月日
			定款	登記簿		提供の有無	提供先	所轄庁の 承認の有無	
基本財産			m ²	m ²					
1 土地	江南市後飛保梁町高瀬69番	宅地	926.08	926.08		無			
	江南市後飛保梁町高瀬68番	宅地	260.00	260.00		無			
	江南市河野町五十間115番	宅地	962.00	962.0		無			
	江南市後飛保梁町高瀬67番1	雑種地	35	35		無			
	江南市後飛保梁町高瀬67番2	雑種地	57	57		無			
	江南市後飛保梁町高瀬67番3	雑種地	50	50		無			
	江南市後飛保梁町高瀬67番4	雑種地	75	75		無			
	江南市後飛保梁町高瀬67番5	雑種地	31	31		無			
	江南市後飛保梁町高瀬54番	雑種地	194	194		無			
	江南市後飛保梁町高瀬55番	雑種地	302	302		無			
	江南市河野町五十間87番	雑種地	321	321		無			
	江南市宮田神野町旭190番	畑	365	365		無			
	2 建物	江南市後飛保梁町高瀬69番地	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	900.32	900.32	ときわ作業所	無		
江南市後飛保梁町高瀬68番地									
江南市河野町五十間88番地		鉄筋コンクリート造 4階建	2,112.51	2,112.51	ふじの木園	有	独立行政法人 福祉医療機構	有	平成14年2月28日
江南市河野町五十間115番地		木造平屋建	257.35	257.35	ときわホーム	無			

8. 理事会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和3年 6月3日	議案第1号 評議員候補者の選出 議案第2号 評議員選任・解任委員会の招集 議案第3号 理事候補者の選出 議案第4号 監事候補者の選出 議案第5号 評議員選任・解任委員の選任 議案第6号 令和3年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第7号 令和2年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第8号 令和2年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分収支決算 議案第9号 評議員会の招集事項 報 告 ①財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書 ②令和2年度 理事長の職務の執行状況の報告 ③法人運営会議委員の指名の報告 ④コロナ禍中の法人の施設・事業所の運営報告	有
令和3年 6月22日	議案第10号 理事長の選定 議案第11号 第三者委員の選任	有
令和4年 3月18日	議案第10号 理事候補者の選出 議案第11号 評議員候補者の選出 議案第12号 評議員選任・解任委員会の招集 議案第13号 評議員選任・解任委員の選任 議案第14号 ふじの木園施設長の選任 議案第15号 役員の賠償責任保険の契約及び内容 議案第16号 役員等報酬規程の一部改正（案） 議案第17号 経理規程の一部改正 議案第18号 職員就業規則の一部改正 議案第19号 職員給与等支給規程の一部改正 議案第20号 契約職員雇用規程の一部改正 議案第21号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 議案第22号 職員被服等貸与規程の一部改正 議案第23号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正 議案第24号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第25号 指定特定相談支援事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第26号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正	有

議案第27号	指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ときわホーム運営規程の一部改正
議案第28号	令和3年度社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算
議案第29号	令和4年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）
議案第30号	令和4年度社会福祉事業区分資金収支予（案）
議案第31号	評議員会の招集事項
報告	①理事長の職務の執行状況（令和3年4月～令和3年12月） ②コロナ禍中の法人の施設・事業所の運営報告 ③第3期中期計画

※議案番号が一部重複しておりましたが、会議録との整合性をとるため、そのままの番号で掲載しております。

正しくは議案番号正誤表のとおりです。

議案番号正誤表

訂正前	訂正後	議 件
議案第10号	議案第11号	理事候補者の選出
議案第11号	議案第12号	評議員候補者の選出
議案第12号	議案第13号	評議員選任・解任委員会の招集
議案第13号	議案第14号	評議員選任・解任委員の選任
議案第14号	議案第15号	ふじの木園施設長の選任
議案第15号	議案第16号	役員等の賠償責任保険の契約及び内容
議案第16号	議案第17号	役員等報酬規程の一部改正（案）
議案第17号	議案第18号	経理規程の一部改正
議案第18号	議案第19号	職員就業規則の一部改正
議案第19号	議案第20号	職員給与等支給規程の一部改正
議案第20号	議案第21号	契約職員雇用規程の一部改正
議案第21号	議案第22号	育児・介護休業等に関する規則の一部改正
議案第22号	議案第23号	職員被服等貸与規程の一部改正
議案第23号	議案第24号	指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正
議案第24号	議案第25号	指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正
議案第25号	議案第26号	指定特定相談支援事業所ふじの木園運営規程の一部改正
議案第26号	議案第27号	指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正
議案第27号	議案第28号	指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ときわホーム運営規程の一部改正
議案第28号	議案第29号	令和3年度社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算
議案第29号	議案第30号	令和4年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案）
議案第30号	議案第31号	令和4年度社会福祉事業区分資金収支予（案）
議案第31号	議案第32号	評議員会の招集事項

9. 評議員会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和3年 6月22日 (書面開催)	議案第1号 理事の選任 議案第2号 監事の選任 議案第3号 令和3年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第4号 令和2年度「本部」・「ふじの木園(支援施設)」・「ふじの木園(相談事業)」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第5号 令和2年度社会福祉事業区分収支決算	
令和4年 3月28日 (書面開催)	議案第6号 理事の選任 議案第7号 役員等報酬規程の一部改正 議案第8号 令和3年度社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算 議案第9号 令和4年度「本部」・「ふじの木園(支援施設)」・「ふじの木園(相談事業)」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画(案) 議案第10号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支予算(案)	

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
令和3年 5月24日	青山 透 石川勇男	令和2年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める	

11. 法人運営会議の開催

委員長：三ツ口和男(理事)

委員：中西和子(評議員) 武田篤司(評議員) 滝正直(ときわ作業所前施設長)
佐藤和弥(ときわ作業所施設長) 春日井昌市(ふじの木園施設長)

事務局：本間浩平(事務局次長) 春日井裕美(事務局次長)
林宏和(事業主幹) 長縄健(事業主幹)

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和3年 5月27日	・6月理事会 ・6月定時評議員会、理事会 ・6月評議員選任・解任委員会 ・社会福祉充実計画 ・法人運営会議委員の指名報告及び任期満了に伴う委員指名の提案	
令和4年 1月18日	・コロナ禍中の法人の施設・事業所の運営報告(R3.6～現在) ・インターネットバンキング利用要綱の制定 ・令和4年度事業計画及び予算の骨子	

	<ul style="list-style-type: none"> ・規程等の改正 ・令和3年度社会福祉法人ときわ会社会福祉事業区分第2次資金収支補正予算 ・3月理事会、評議員選任・解任委員会及び臨時評議員会 ・職員の確保定着・処遇改善 ・第3期中期計画（令和4年度～6年度） 	
令和4年 3月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・3月理事会、臨時評議員会 ・3月評議員選任・解任委員会 ・虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会の設置 ・職員全員会議 ・令和4年度職員体制 ・4月～6月会議等の予定議案及び日程調整 	

12. 事務局会議の開催

委員長：春日井昌市(理事長)

委員：佐藤和弥(局長) 本間浩平(次長) 春日井裕美(次長)
林宏和(事業主幹) 長縄健(事業主幹)

	主 な 内 容	備考
令和3年 5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・5月法人監査、法人運営会議 ・6月理事会、定時評議員会、評議員選任・解任委員会、理事会（理事長選定等） ・5月後援会総会 	
令和3年 7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・各施設、事業所のゴミ廃棄 ・第三者評価 ・法人本部の令和3年度事業計画及び第3期中期計画 ・社会福祉法人等の指導監査（書面）（ふじの木園） ・第41回ときわバザーの中止に伴う対応 	
令和3年 8月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 	
令和3年 8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・ときわバザー代替行事 ・各施設、事業所のゴミの廃棄 	
令和3年 9月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・ときわバザー代替行事 ・各施設、事業所のゴミの廃棄 ・職員面談・ヒアリング ・常勤職員健康診断 	
令和3年 10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・ときわバザー代替行事 ・各施設、事業所のゴミの廃棄 ・労務管理状況に関する調査の結果（ふじの木園） ・インターネットバンキング利用要綱（案） 	

令和3年 11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・令和3年度 職員面談・ヒアリングの結果 ・新規グループホームについてのアンケート調査の実施 ・令和4年度予算及び事業計画の策定スケジュール 	
令和3年 12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・1月後援会役員会 ・1月法人運営会議 ・令和4年度職員配置 ・新規グループホームについてのアンケート調査の実施 	
令和4年 1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・1月法人運営会議 ・令和4年度職員配置 ・事業計画及び予算骨子 ・交流会代替行事 	

1.3. 法人連絡調整会議の開催

委員 長：林宏和（支援主幹） 副委員長：長縄健（支援主幹）
 委 員：春日井裕美（指導主幹） 大川内誠（支援主幹）
 及川玲香（相談主任） 丹羽章（グループリーダー支援員）
 総 括：本間浩平（ふじの木園副施設長）

開催年月日	主 な 内 容	備 考
令和3年 4月6日	・事業報告及び決算	
令和3年 5月14日	・理事会、定時評議員会議案 ・令和3年度各部会等の活動	
令和3年 7月21日	・第41回ときわバザー	
令和3年 10月21日	・ときわ会の秋まつり（第41回ときわバザー代替行事） ・交流会	
令和4年 1月13日	・事業計画及び予算骨子 ・交流会代替行事	
令和4年 3月7日	・理事会の議案等 ・事業計画及び予算 ・令和4年度の各部会、委員会	

1.4. 事務職会議の開催

委員 長：本間浩平（事務局次長）
 委 員：三浦里夏（事務員） 藪下卓也（事務員）

開催年月日	主 な 内 容	備 考
令和3年 4月6日	・事業報告及び決算	
令和3年 5月14日	・理事会、定時評議員会議案 ・令和3年度各部会等の活動	

令和3年 11月17日	・令和3年年末調整 ・消費税セミナー(インボイス制度)報告	
令和4年 1月13日	・予算骨子	
令和4年 3月7日	・予算	

1.5. 第三者評価の受審について

利用者サービスの質を向上させるため受審を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防の徹底を優先し、令和4年度の実施予定に変更した。(ふじの木園、ときわ作業所)

1.6. 新型コロナウイルス等の感染症対策

利用者の感染リスクの回避と健康を第一に考え、生活上の留意点、各活動の実施方法、保護者や外部業者の対応等をまとめた法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP(事業継続計画)」について、施設、事業所ごとに合わせた詳細についての作成に向け検討を進めた。ふじの木園、ときわ作業所の利用者、職員に新型コロナウイルス感染症の発症者はあったが、ゾーニングの対応や消毒の徹底、活動内容の変更等をしながら感染拡大の防止に努めた。

[新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施]

・令和3年7月から8月及び令和4年2月から3月に法人内の利用者と職員を対象にした予防接種を実施。

[スクリーニング検査の実施]

・職員は通常の予防に加え、クラスターの発生を防ぐことを目的に、PCR検査を定期的実施。(ふじの木園、ときわ作業所、ときわホームに関わる職員を対象)

1.7. 中期計画の令和3年度の取り組み

(1) 社会福祉充実計画の終了に伴う今後の事業等の方向性

新型コロナウイルス感染症に対応し、既存の事業を継続するための支援体制等の検討を最優先に取り組んだ。平成30年度に位置付けた、法人の諸課題である新規グループホームの整備をはじめとする主な検討事項への対応は、令和4年度に法人としての方向性を示せるように保護者を対象とした「今後希望する生活の場と新規グループホームについてのアンケート調査」の実施や第5期指定管理契約の更新についての江南市との協議等を継続して行った。

[平成30年度に位置付けられた主な検討事項]

- ・新たなグループホームの整備
- ・ふじの木園(定員の見直し、個室化)
- ・ときわ作業所(定員の見直し、大規模修繕)
- ・地域生活支援拠点等の整備

[新たな課題]

- ・あゆみ、小規模授産施設の第5期指定管理契約

(2) 職員の処遇改善と人員配置

職員の処遇改善については、新規職員向けの研修「フレッシュ職員ノート」及び全職員を対象にした「面談・ヒアリング」、企業主導型保育事業の共同利用の活用を継続して行った。

働き方改革を視野に入れた世代間の給与配分の適正化のための新たな給与表に基づく支給の開始や、契約職員、パート職員への手当の新設、厚生労働省による福祉・介護職員の処遇改善を図るための「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金」の活用等、働きやすい職場づくりの醸成につなげた。

人員配置については、今後の事業の方向性への対応も視野に入れた各事業所の標榜に対する欠員等への取り組みとして、新たな人材紹介求人サイトの利用を開始する等し、求人活動を充実させた。新たに常勤支援員1名、常勤事務員1名、非常勤運転手1名を配置することができたものの、標榜する職員体制には至っていない。

(3) 法人本部・各施設・事業所の第2期中期計画の検証

法人本部・各施設・事業所の第2期中期計画の達成度や実施状況等を検証した。また、第3期中期計画策定に向け、第2期からの改善や見直しの必要性を整理し、中期計画及び令和4年度の事業計画の中に位置付けた。

令和3年度 ふじの木園（支援施設） 事業報告書

1 ふじの木園の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定障害者支援施設（施設入所支援・生活介護事業）
 施設名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 障害者支援施設
 (1) 施設入所支援 50名（現員45名）
 (2) 生活介護 50名（現員45名 施設入所と同者）
 (3) 短期入所 5名（随時）
 対象者 障害支援区分4以上（50歳以上は区分3以上）である者
 職員等 [職員]・常勤27名・非常勤9名 計36名
 [他]・嘱託医（内科）1名
 ・講師（音楽療法・軽運動）3名 計4名

職員

（単位：人）

	施設長	副施設長	サービス管理 責任者	事務員	支援員		
					支援 主幹	グループ リーダー	支援員
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	1	1	1	1	7
女	0	0	0	1	0	1	9 (9)
合計	1	1	1	2	19 (9)		

	看護師	栄養士	合計
男	0	0	13
女	2	1	14 (9)
合計	2	1	27 (9)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は特定相談支援事業所施設長を兼務

※₂は特定相談支援事業所副施設長を兼務

2 事業総括

障害者支援施設

(1) 施設入所支援・(2) 生活介護

新型コロナウイルス感染予防のため、平時からマスクの着用や手洗い消毒、定期的な換気、三密の回避等の基本的な感染対策を実施した。また、個人防護具（ガウン）使用方法の研修会の実施や、地域の感染状況や国や県の対策の変更等を把握し、利用者への感染リスクの回避と心身の健康を第一に支援を行った。その中で、入所施設という観点から、利用者の帰省や外出の自粛等についてのお願いや、保護者との面会に制限を設ける等の対応を行ってきた。令和3年8月には職員の感染、令和4年2月から3月にかけては、施設内で、利用者・職員から複数名の新型コロナウイルスへの感染が確認された。職員の感染により、支援の維持が困難になることがあったが、職員間の連携等により対応することができた。また、愛知県を通して感染症認定看護師の派遣を要請し、ゾーニングや感染対応の助言をいただいたことで、施設全体への感染拡大を食い止めることができた。罹患者は幸い重症化することなく全員が10日間の療養期間で回復された。

施設入所支援は、夜間及び休日において、入浴や排せつ、食事等の支援を行った。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の生活支援に加え、3つの活動班からなる生産活動、軽運動等の療育活動及びクラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。

利用者の重度化・高齢化への対応とし、年齢や障害の程度に合わせたすみ分けを行った「特別活動」の試行の開始と、コロナ禍での新しい生活様式を模索し、日課や活動グループと活動内容の見直しや、感染対策を講じた内容の行事へ変更した。また、多くの行事が中止や縮小となる中で、コロナ禍でも有意義な施設生活を送ることができるよう「お楽しみ会」と称し、夏にはお化け屋敷と花火大会、秋には施設内での運動会とキッチンカーを手配しての焼き芋会を開催した。

利用者数は、男性1名の長期入院に加え、男女5名の利用者の入院があった。令和3年度中の高齢者施設等への移行はなく、利用者的人数は変わらず45名であった。

新型コロナウイルスの影響により施設に在園した利用者が増加したことから、年間を通しての利用延べ人数、1日当たり平均利用人数ともに増加した。

利用料収入は、昨年度より3,638,322円、率では1.7%の増収となった。

(3) 短期入所

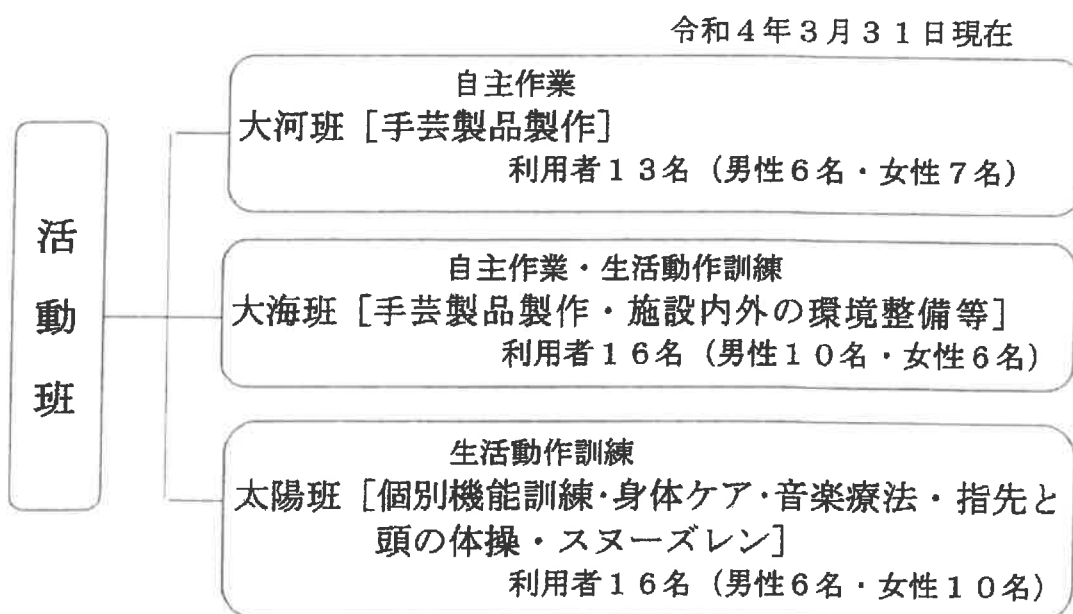
感染予防のため、受け入れの調整を行った中で、家庭の事情による急な受け入れ等に対応した。特定相談支援事業者や江南市基幹相談支援センターとの連携により、円滑なサービスを提供することができた。

地域生活支援拠点事業では、江南市の拠点事業で定義する緊急の受け入れはなかったが、家族のやむを得ない事情等による急な利用受け入れを相談支援との連携により対応した。

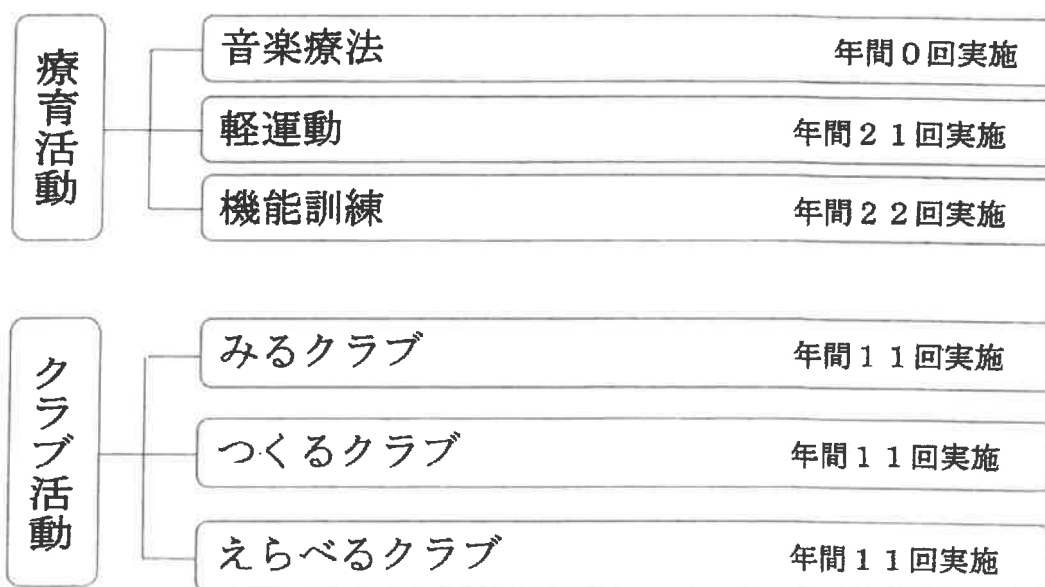
短期入所の利用率は受け入れ調整は前年度より継続して行ったが、利用件数は増加し、昨年度より304,420円、率では113.1%の増収であった。

事業内容

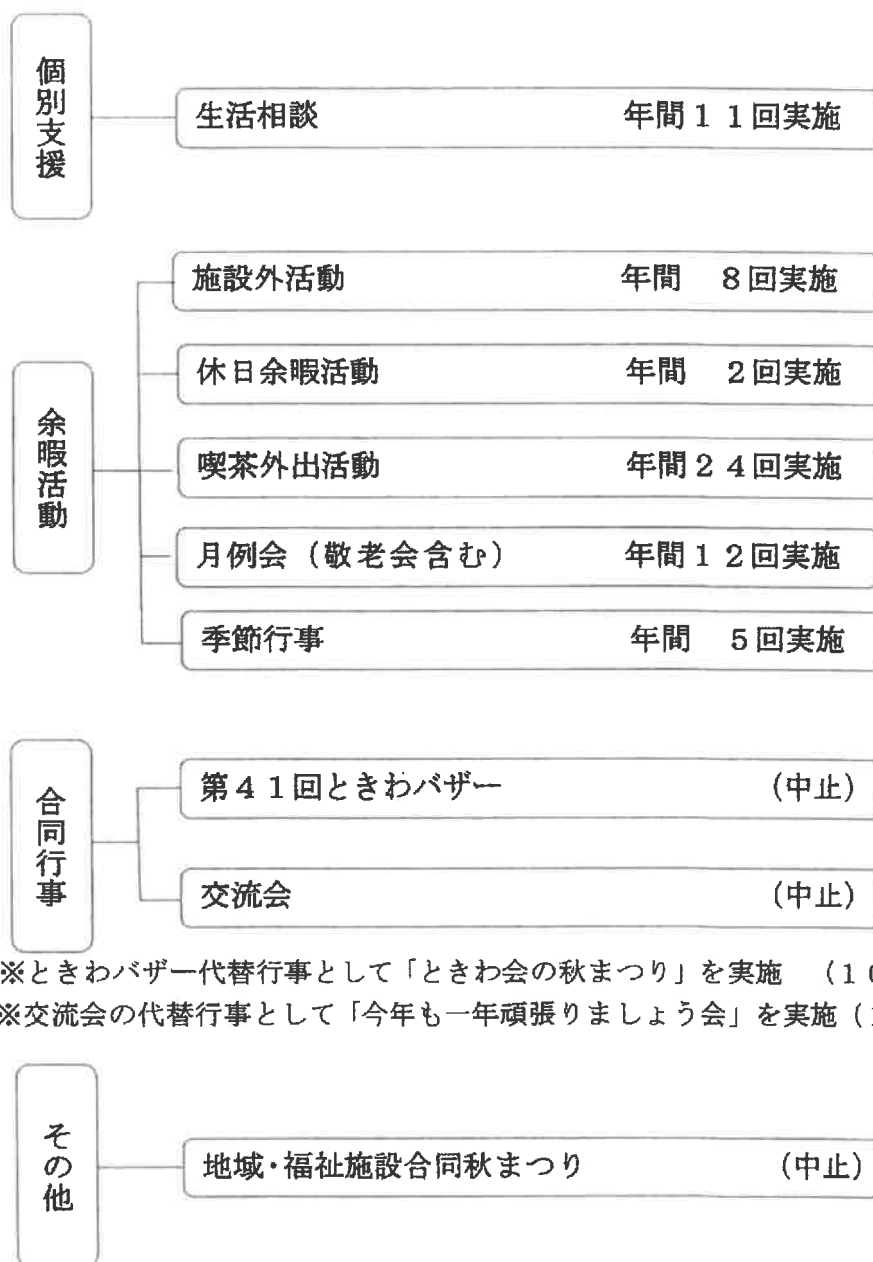
1 生産活動



2 創作的活動



3 その他の活動



※ときわバザー代替行事として「ときわ会の秋まつり」を実施（10月29日）

※交流会の代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を実施（1月19日）

4 医療支援

看護師2人体制で、利用者のバイタル測定や外傷、疾病等の症状観察、精神症状の変調等への対応に努めた。また、夜間、休日においても利用者の体調不良時等の際には、交代で処置等の対応を行った。

健康診断や歯科健診の結果を医療機関への受診につなげ、回診を通じてフォローできた。健康診断は、三密を回避するため午前と午後の2部制とした。また、胸部レントゲンをポータブルレントゲンで行ったことで、安全かつ時間にもゆとりをもって実施することができた。

手洗い講習は、感染予防の観点から外部講師の派遣を中止し、施設の看護師と栄養士で講習会を行い、手洗いの大切さ等を伝えることができた。

新型コロナウイルス感染症への対応は、事業総括を参照。

【入院】

精神科1件

その他の診療科4件(泌尿器科・内科)

【通院】

症状が安定している慢性症状の治療は、保護者と相談しながら嘱託医へ移行した。月に1回の内科回診を利用して皮膚症状(湿疹、白癬等)、眼症状(ドライアイ、結膜炎)の治療の他、処方可能な睡眠剤等の処方により、外部通院の頻度を減らすことができた。また、症状に応じて内科や整形外科、泌尿器科、精神科などの専門医の受診につなげ、入院加療や嘱託医と地域医療機関と連携を図ることができた。

【回診・その他の取り組み】

- ・内科回診 12回実施 藤原誠治医師(嘱託医 藤原医院院長)
- ・歯科健診 6月24日 尾北歯科医師会(県事業)
- ・利用者・非常勤職員健康診断 7月16日 名古屋公衆医学研究所
- ・支援員(夜勤者)健康診断 9月28日 藤原医師
- ・利用者・職員インフルエンザ予防接種 [2回に分けて実施]
11月16、30日 藤原医師
- ・新型コロナウイルスワクチン接種
1回目:7月13日、20日、27日 藤原医師
2回目:8月3日、10日、31日
3回目:2月22日、3月8日、15日 藤原医師
- ・手洗い講習 11月2日 施設看護師・施設栄養士
- ・利用者健康診断 3月29日 藤原医師
- ・常勤職員健康診断 2月1日~15日 江南厚生病院健診センター
- ・体重測定 年11回実施
- ・血圧測定 年11回実施

5 給食支援

感染予防のため、食堂内の配席を一方向にしたことに加えて、男女フロアごとの配席になるよう見直した。また、職員が下膳することで利用者の移動を減らすよう努めた。感染対策による帰省自粛等の対応の中、施設内での利用者の楽しみが一つ

でも増えるよう、年末年始に特別企画として、食べたい食事やおやつをリクエストしてもらい、オムライスやラーメン、エクレアやアイスクリームを提供した。

利用者の重度化、高齢化に伴い、看護師、委託業者と協力し、食事提供時のとろみ濃度の見直しを行い、適切な支援が行えた。また、カルシウム摂取基準は満たしているが、年齢とともに吸収率の下がるカルシウムを効率よく摂れるよう、夕食時にカルシウムウエハース1枚を提供した。

給食委託業者の契約変更による非常用食品と食器の入れ替えについて、それぞれ三年計画の第一回分の購入を行った。食器の入れ替えに伴い、温かい給食提供の方法の一つとして、ごはん用、汁用の食器を保温食器に変更した。

災害時のライフライン停止時への対応について、ライフライン停止時においても、利用者の重度化、高齢化に適した食形態の備蓄品を選ぶことで、非常時の個別対応に備えた。また、災害が発生した直後に対応できるよう、個別に配布できる備蓄品を組み合わせた献立の作成を行った。

[主な取り組み]

- | | |
|---------------|--|
| ・行事食 | その都度（7月うなぎ丼、2月恵方巻き等） |
| ・セレクトメニュー | 毎月1回（豚肉のしょうが焼き 又は 白身魚のめんたいマヨネーズ焼きの選択等） |
| ・誕生者リクエストメニュー | 誕生日（誕生者が希望した一品） |
| ・季節のおすすめ献立 | 月1回（魚のムニエル・ラビゴットソース、鶏肉の粕煮等） |

6 地域移行への支援

施設生活から地域生活への移行の長期的な取り組みとして、「～へ外出に行きたい」等の日頃の利用者からの希望を勘案した中で、例年は外出活動等により地域資源を活用して地域社会との関りを持ってきたが、今年度もコロナ禍で外出の機会が減少した中でも、近隣の飲食店やショッピングモール等のテイクアウト等を活用することで、地域社会との関りの場を持つことができた。

7 ときわホームへのバックアップ

主に夜間や休日における医療や災害等できわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。

令和3年度 緊急対応 0件

8 防犯対策

神奈川県相模原市で起きた障害者施設での殺傷事件（平成28年7月26日）以降、防犯対策を強化するため以下の取り組みを行った。

[主な内容]

- ・防犯訓練の実施（教材DVDを通しての、防犯への知識習得と意識啓発）11月29日

江南消防署生活安全課より教材DVDを借用し、教材DVDを通して、一人ひとりが防犯への知識の習得と意識を高めることができた。来訪者への職員からの声掛け、不審者と判断した際の際他職員への応援、施設内各所の施錠により、

不審者と施設内利用者の距離を保つことが大切であると確認することができた。

9 中期計画の令和3年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

令和3年度中の高齢者施設等への移行はなく45名を継続している。

令和4年2月に施設内の利用者、職員の新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、ゾーニングや館内の消毒作業などを行った。職員の感染により、職員体制が手薄になることもあったが、職員間の連携等により対応することができた。また、帰省や外出の自粛等による休日の在園利用者増に対応するため、休日の支援体制を増員した体制での支援を継続し行った。

感染予防のため、日中活動や行事は密を防ぐ対策を行った上で実施した。その中で、利用者の年齢や障害程度に合わせたすみ分けを行い、作業時間の確保や運動不足の解消を目的とした「特別活動」を1月より試行を開始した。作業ではアイロンがけや裁断の練習を行い、作業の幅を広げる取り組みができた。また、運動では歩行運動やボール運動を行い心身のリフレッシュの機会となった。

(2) 利用者サービスの向上

ライフライン停止時を想定した備蓄品や非常食の整備については、給食委託業者との契約内容の変更に伴う非常食の入れ替え時期に合わせて、年度ごとに実施していくこととなり、今年度分は9月に実施した。

新型コロナウイルス感染症に関する備蓄品の整備については、令和4年2月の施設内感染の発生に伴い、備蓄物品を使用した。ガウン等一部の物品の使用頻度が高く、不足する傾向にあった。法人内での連携、保健所や愛知県へ要請を行い対応にあたった。

(3) 設備ハード面の充実

利用者の心身状況の変化等に合わせた居室変更や介護ベッドの導入、エレベーターの安全装置の設置等により、より安全で安心した施設生活を送ることができるよう努めた。

施設の老朽化に伴う故障や不具合に対しては、エレベーターのインバーターユニット交換等の修繕を実施した。

生産活動報告

1 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

大海班と連携し、クッション等を製作した。その中で各利用者が分担された作業内容をしっかりと行うことができた。また、適宜散歩等も取り入れ、気分転換を図った。班活動が実施できない日は特別班を実施し、施設製品の製作を進めた。

新型コロナウイルスの影響でバザーへの参加はなかった。

2 大海班

[手芸製品製作] 自主作業

大河班と連携し、クッション等を製作した。

[生活動作訓練] 個別機能訓練、施設周辺の清掃活動

生活動作訓練については天気の良い日には中庭へ出て、ボールを使用した運動や施設周辺の散歩に取り組んだ。また、理学療法士から個別に受けた指導内容の実践にも積極的に取り組むことができた。

地域清掃活動については新型コロナウイルスの影響で実施はできなかった。

3 太陽班

[生活動作訓練] 個別機能訓練、身体ケア、音楽療法、指先と頭の体操、スヌーズレン

個々の状態や能力に応じた機能訓練や、ペグボードや型はめ等の指先の生活動作訓練に取り組んだ。また、絵本の読み聞かせや音の出る絵本の活用、散歩やマッサージを行うことにより気分転換にもつながり、精神安定と身体機能維持を図ることができた。室内にテントを設置し、感覚刺激空間(スヌーズレン)を実践した。テントを警戒する方も見えたが、テントへ入ることができた方達は、寝転んで目を閉じたり、音楽を聴いて歌を歌ったり、それぞれリラックスして過ごすことができ、精神安定につながることができた。

創作的活動報告

1 療育活動

①音楽療法

感染予防のため、令和2年9月より活動を中止し、現在も活動を見合わせている。
年間0回実施

[行事での発表曲]
令和3年度の発表はなし。

②軽運動

前年度に引き続き、感染予防のため講師の受け入れを中止し、職員の主導でボッチャ等を行った。その中で、新型コロナウイルスの感染者の発生に伴い3回が中止となった。

外出や帰省が自粛される中で、利用者の精神面や健康面を考慮し、玉入れや、施設周辺の散歩等、いつもとは違う方法で楽しく体を動かし、気分転換につなげる活動を行った。

年間21回実施

[主な活動]

- ・レクリエーション（ボッチャ、輪投げ、ピンポン入れ、的あて、玉入れ）
- ・ボッチャふじの木カップ
- ・中庭で玉入れ、散歩

[大会結果]

- ・愛知県障害者スポーツ大会…感染拡大防止のため大会不参加。
- ・第22回愛知県ボッチャ競技大会…感染拡大防止のため大会不参加。

[主な活動]

- ・知的障がい者理解促進スポーツ教室…感染拡大防止のため実施なし。

③機能訓練

施設内の新型コロナウイルスの感染者の発生に伴い2回が中止となった。理学療法士が作成したプログラムに沿って、嚥下・発語訓練や棒体操セラバンドを使用した運動を職員が声をかけながら、利用者主体で取り組んだ。個別のADL支援では、それぞれの課題点を確認し、班活動の合間や余暇時間の中で実践した結果、関節可動域の改善や筋力維持、歩行の安定等につなげることができた。

年間22回実施

[主なグループ運動]

- ・摂食・嚥下機能訓練（首や口の動き・発声練習）
- ・準備運動（上下肢・肩関節・股関節の運動等）
- ・筋力トレーニング（棒を使った運動）

[主な個別ADL支援]

- ・ 体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降
- ・ 体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動
- ・ 関節可動域の維持向上を目的とした運動

2 クラブ活動

①みるクラブ

感染予防のため、隔月で各階男女に分かれて映画鑑賞を行った。映画の内容は利用者のリクエストを聞き、見やすさ・楽しさを考慮した作品を選んで鑑賞した。ゆっくり映画鑑賞を楽しむことで気分転換等につなげることができた。

年間11回実施

○鑑賞した作品

ライオンキング、美女と野獣、ホームアローン5、ドラえもん のび太の月面探査記、シンデレラII等

②つくるクラブ

感染予防のため、隔月で各階男女に分かれて行った。季節の行事やイメージする作品を製作し、1階廊下掲示板に掲示した。下半期は模造紙でカレンダーを作成し利用者みなさんの誕生日やスケジュール等を記載した。

年間11回実施

○作製した作品

掲示物（鯉のぼり等）、カレンダー作成等

③えらべるクラブ

利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動“えらべるクラブ”を行った。活動内容は以下のとおり。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4	公園散策	10	公園散策
5	公園散策	11	フラワーアレンジメント
6	ウッドバーニング	12	ウッドバーニング
7	ウッドバーニング	1	ウッドバーニング
8	※コロナウイルス対応で中止	2	フラワーアレンジメント
9	公園散策	3	公園散策

ウッドバーニング、フラワーアレンジメントの個人作品は、自身の居室や施設玄関に飾り満足感を得ることができた。

公園散策は、気候の良い時期に施設周辺やフラワーパーク等の散策を行った。戸外を散歩し、気分転換を図り、木々や草花を見ながら季節を感じる機会となった。

年間11回開催

その他の活動報告

1 個別支援

生活相談

希望者を対象に施設生活の中で感じていることや希望、不安に思っていることを個別で話しを聴くことで、言葉や表情で理解することができ、職員の共通認識として支援に生かすことができた。また、希望者がなかった月は、健康面や精神面等を考慮した中で対象者を選定し、個別での散歩やジュース購入、機能訓練等を行うことでリフレッシュの時間として活用することができた。

年間11回実施（利用者11名）

[主な相談内容]

- ・帰省等の中止による不安等の解消
- ・施設での生活について
- ・運動・ジュース購入等の気分転換

2 余暇活動

①施設外活動

前年度に続き、感染予防のため施設内での活動となったが、中庭での運動・日光浴や施設周辺の散歩で気分転換を図ることができた。また、食事やおやつをテイクアウトメニューから選んで、より具体的なメニューの選択で充実した飲食を楽しむこともできた。食事の宅配を試み、選択肢の幅が広がった。

年間8回実施

[テイクアウトを行った主な店舗]

さぼてん、ほっともっと等

②休日余暇活動

感染予防のため、施設外の催し物等への参加や外出については自粛したが、クリスマス会等の行事の飾り物の作成や飾り付けを行うことで季節感を味わい、行事に向けての楽しみを増やすことができた。

年間2回実施

[施設内での取り組み]

クリスマスツリーの飾り付け、ひな祭りの飾り付け

③喫茶外出活動

感染予防のため、施設外での活動を自粛することとなったがテイクアウトを利用することで外出の苦手な利用者も参加することができ、今後の活動の参考となった。

年間24回実施

[テイクアウトを行った主な店舗]

アピタ江南西店、マクドナルド江南ピアゴ店等

④月例会・敬老会

感染予防のため、各階フロアで行った。月例会では、その月の行事予定と誕生者の紹介、お知らせ等の連絡事項の周知を行った。また、看護師から健康に関するお話し、栄養士からは旬の食材や栄養素の話しを聞くことで、健康への意識を高めることと、季節の移りを感じることができた。

誕生者のお祝いには、月例会での発表と別日のクラブ活動後でお菓子の詰め合わせ等のプレゼントとケーキを食べて祝福した。9月の敬老会では、今年度60歳を迎えられた利用者1名と60歳以上の利用者8名へ長寿のお祝いとしてメッセージカードとプレゼントでお祝いをした。

年間12回実施（内9月は敬老会）

⑤季節行事

・これからもよろしくね会（令和3年4月9日）

感染予防のため、保護者合同での食事は実施できなかったが、座席等に配慮した中で、利用者・職員で食事会を行った。異動職員の挨拶を行ったり、職員と一緒に食事を摂り、和やかな雰囲気の中で昼食を楽しむことができた。

・七夕祭り(令和3年7月5日)

感染予防のため、各階フロアで行った。笹の飾りつけは前日に時間を設け、利用者も準備に参加したことで前日から楽しみを持つことができた。また、当日は、七夕の由来説明や短冊の願い事を発表した。飾り付けが終わった短冊は玄関に飾り、保護者来園時に見てもらえるようにした。

・クリスマス会(令和3年12月22日)

事前に利用者が参加してクリスマスツリーの飾りつけを行うことで、クリスマス会前からクリスマスの雰囲気を味わうことができた。

クリスマス会当日は、感染予防のため、各階男女で行った。飛沫を防ぐために歌うことは避け、音楽はBGMとして流した。各々希望のプレゼントが届き、楽しい時間を過ごすことができた。

・ふじの木園のお正月(令和4年1月5日)

感染予防のため、帰省や外出を自粛する中で、園での年末年始を楽しめるよう、お正月にちなんだ催し物、餅つき大会、絵馬の製作を行うことで、季節感を感じることができた。また、新たな気持ちで一年のスタートをきるような行事となった。

・節分祭り(令和4年2月3日)

感染予防のため、各階フロアと作業室に分かれて行った。豆まきは、ポッチャのボ

ールを使用し、ボーリングの要領で鬼に見立てた目標に向かって転がした。ゲーム感覚で楽しみながら季節を感じることができた。

・ひな祭り(令和4年3月3日)

施設内の新型コロナウイルス感染者の対応期間となり中止した。

3 合同行事

①第41回ときわバザー(令和3年10月29日)

感染予防のため中止となったが代替行事としての「ときわ会の秋まつり」を事業所毎に実施し、ベビーカステラを食べ、スタンプラリーをして楽しんだ。スタンプラリー中は、わずかな時間ではあったが、事業所間での交流をすることができた。

②交流会(令和4年1月19日)

感染症予防のため中止となったが、代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を行った。ときわ会の利用者へ向けて理事長、江南市長、各施設・事業所の施設長からのメッセージと食事会をして楽しんだ。

4 その他

①地域・福祉施設合同秋まつり (令和3年9月25日)

感染予防のため中止。

令和3年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	他団体協力バザー
4. 9	これからもよろしくね会 (中止)	4. 21 ~5. 5	藤まつり (中止)
5. 22	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)		
6. 24	歯科健診		
7. 5	七夕祭り		
7. 13, 20, 27	新型コロナワクチン1回目		
7. 16	健康診断 (移動検診車)		
8. 3, 10, 31	新型コロナワクチン2回目		
9. 6	敬老会		
9. 25	地域・福祉施設合同秋まつり (中止)		
10. 29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)		古知野高校文化祭 (参加中止)
10. 31	第41回ときわバザー (中止)		江南ふれあいまつり (中止)
11. 16	インフルエンザ予防接種①		こうなん産業フェスタ (中止)
11. 30	インフルエンザ予防接種②		
	愛知県ボッチャ競技大会 (大会不参加)		
12. 22	クリスマス会		
1. 5	ふじの木園のお正月		
1. 19	交流会 (中止) 今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)		
2. 3	節分祭り		
2. 22, 3. 8, 15	新型コロナワクチン3回目		
3. 3	ひな祭り (中止)		
3. 22	ボッチャふじの木カップ		
3. 29	利用者健康診断		

その他	施設実習等
月例会(敬老会含む)	
年間 1 2回実施	
クラブ活動	
年間 1 1回実施	
保護者会	
年間 1 回実施	
避難訓練	
年間 1 2回実施	
体重測定	
年間 1 1回実施	
血圧測定	
年間 1 1回実施	
施設外活動	
年間 8回実施	
休日余暇活動	
年間 2回実施	
喫茶外出活動	
年間 2 4回実施	
音楽療法	
年間 0回実施	
軽運動	
年間 2 1回実施	
機能訓練	
年間 2 2回実施	
生活相談	
年間 1 1回実施	

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

令和4年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	13人	20人	33人	0人	25人	6人	2人
一宮市	3	0	3	0	1	2	0
岩倉市	1	0	1	1	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	22	23	45	2	30	11	2

2 障害支援区分別

令和4年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	1人	6人	2人	13人	22人
女	0	1	0	7	5	10	23
合計	0	1	1	13	7	23	45

3 年齢別

令和4年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	1人	9人	9人	3人	22人	51.4歳
女	0	0	0	6	3	8	6	23	50.8
合計	0	0	0	7	12	17	9	45	51.1

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	914人	963人	925人	960人	965人	925人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	41.5人	41.9人	42.0人	41.7人	42.0人	42.0人
契約人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
利用率	92.3%	93.0%	93.4%	92.8%	93.2%	93.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	966人	927人	967人	966人	840人	970人	11,288人	941人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	20日	23日	269日	22.4日
1日当たり 平均利用人数	42.0人	42.1人	42.0人	42.0人	42.0人	42.2人		42.0人
契約人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人	540人	45.0人
利用率	93.3%	93.6%	93.4%	93.3%	93.3%	93.7%		93.3%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数42.0人 利用率93.3% 年間延べ11,288人が利用
年間稼働日数 269日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,245人	1,297人	1,260人	1,287人	1,298人	1,260人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	41.5人	41.8人	42.0人	41.5人	41.9人	42.0人
契約人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
利用率	92.2%	93.0%	93.3%	92.3%	93.0%	93.3%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,302人	1,260人	1,302人	1,302人	1,176人	1,302人	15,291人	1,274人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30.4日
1日当たり 平均利用人数	42.0人	42.0人	42.0人	42.0人	42.0人	42.0人		41.9人
契約人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人	540人	45.0人
利用率	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%		93.1%

利用率 定員50人に対し、1日平均利用人数41.9人 利用率93.1% 年間延べ15,291人が利用
年間稼働日数 365日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和3年度	139,141,842円	54,582,381円	5,159,762円	22,136,758円	221,020,743円
令和2年度	129,497,812円	60,755,519円	5,103,737円	22,025,353円	217,382,421円
差引	9,644,030円	-6,173,138円	56,025円	111,405円	3,638,322円
前年比	107.4%	89.8%	101.1%	100.5%	101.7%

(2) 短期入所

	短期入所	合計
令和3年度	573,689円	573,689円
令和2年度	269,269円	269,269円
差引	304,420円	304,420円
前年比	213.1%	213.1%

施設本体は昨年度より3,638,322円、率では1.7%の増収であった。

短期入所の利用率は増収し、昨年度より304,420円、率では113.1%の増収であった。

6 日常生活動作能力別

令和4年3月31日現在

区分	性別	性別		合計
		男	女	
		22人	23人	45人
食事	全介助	2	4	6
	一部介助	9	10	19
	自立(見守り・声かけ)	11	9	20
排泄	全介助	4	6	10
	一部介助	7	9	16
	自立(見守り・声かけ)	11	8	19
着脱	全介助	4	7	11
	一部介助	3	4	7
	自立(見守り・声かけ)	15	12	27
洗面	全介助	9	11	20
	一部介助	7	7	14
	自立(見守り・声かけ)	6	5	11
入浴	全介助	6	11	17
	一部介助	9	12	21
	自立(見守り・声かけ)	7	0	7
歯磨き	全介助	8	11	19
	一部介助	12	12	24
	自立(見守り・声かけ)	2	0	2
生理	全介助	0	8	8
	一部介助	0	3	3
	自立(見守り・声かけ)	0	0	0
	終了	0	12	12

7 入院状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	1人	0人	1人	[その他の診療科の主な入院内容] 精神面不安定 重症てんかん発作 右腎腫瘍手術
女	0	4	4	
合計	1	4	5	

8 通院状況別

令和3年4月1日～令和4年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	210人	12人	21人	73人	25人	58人	14人	14人	1人	13人		441人
女	311	3	75	90	31	50	18	4	1	22	2人	607
合計	521	15	96	163	56	108	32	18	2	35	2	1,048

(把握分)

9 服薬状況

令和4年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	20人	2人	22人
女	22	1	23
合計	42	3	45

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

令和4年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	16人	5人	21人
女	14	8	22
合計	30	13	43

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

令和3年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,860	74.8	45.5	953	13.5	702	0.93	1.03	94
ふじの木 園基準量	1,800	66.0	40	660	11	700	1.20	1.10	100

※ 低カロリー食含

知的障害者(児)短期入所事業の状況 (契約者数86名の内、4名の利用・延べ利用日数55日)

1 契約状況(市町村別)

令和4年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	41人	18人	59人
一宮市	4	1	5
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	1	2	3
名古屋市	0	1	1
大口町	8	2	10
扶桑町	1	4	5
合計	57	29	86

2 障害支援区分

令和4年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	7人	2人	9人
区分2	0	3	3
区分3	7	3	10
区分4	21	7	28
区分5	14	13	27
区分6	8	1	9
合計	57	29	86

3 年齢別

令和4年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	0人	8人	19人	21人	6人	3人	57人	39.4歳
女	0	7	8	6	7	1	29	38.2
合計	0	15	27	27	13	4	86	38.8

令和3年度 ふじの木園（相談事業） 事業報告書

1 ふじの木園の運営

設置・経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定特定相談支援事業所 [特定相談支援事業]
 事業所名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 特定相談支援事業
 (1) 計画相談支援 随時
 (2) 基本相談支援 随時
 対象者 計画相談支援 障害福祉サービスを利用する者
 基本相談支援 障害者及びその家族等
 職員数 [職員]・常勤4名 計4名

(単位：人)

	施設長	副施設長	相談支援専門員		合計
			相談主任	相談支援専門員	
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1		1	3
女			1		1
合計	1	1	2		4

※₁は、障害者支援施設ふじの木園施設長を兼務
 ※₂は、障害者支援施設ふじの木園副施設長を兼務

2 事業総括

(1) 計画相談支援

新型コロナウイルス感染拡大予防の為、面談等の実施を市と調整し、聴き取り方や署名等の受け取り方に配慮を行った。また、事業所での面談時には、入館時の手指消毒、検温、マスクの着用、アクリル板の設置、終了時の消毒清掃を実施した。

健康面で、医療的支援が必要な方への対応を図るため、訪問診療や訪問看護との連携を図ることや短期入所利用に関して、サービス提供事業所とサービス内容の情報共有を行い、支給量等の調整を行った。

モニタリングでは、利用者、保護者の意向の把握を行い、適切なサービス利用につながるような計画の作成に努めた。

施設入所利用者については、現状の支援目標の達成度に留意し、新たな目標の設定を行い、より良い生活につながる計画の作成に努めた。

在宅利用者については、本人の障害の状態や家族の介護負担、家庭の経済状況等の把握を行い、現状の生活の改善につながるように、通院、就労の支援を行った。

- 介護保険への移行については、本人の希望、本人の状態と現状のサービス提供（支援、環境面）の把握を行い、個々に応じて慎重な対応を行った。

今年度は、新規の契約があったが、契約終了もあり、契約者数は107名のままとなった。利用者個々の状況に合わせた計画変更の増加や、行動障害支援体制加算の算定により、報酬は654,892円、率では14.7%の増収であった。

（2）基本相談支援

障害福祉サービスの利用に関すること、家族の抱える本人への不安の解消等、個々のケースに合わせて障害者やその家族からの相談に応じ、必要な情報提供に努めた。

3 中期計画の令和3年度の取り組み

（1）事業の方向性

地域生活支援拠点

江南市相談支援部会への参加により地域の動向等の情報収集、地域生活支援拠点事業における特定相談支援事業所の役割や基幹相談支援センター等との連携の方法等の調査を行い、緊急時の受け入れ、対応について把握することができた。

（2）利用者サービスの向上

相談支援専門員のスキル向上、業務の効率化

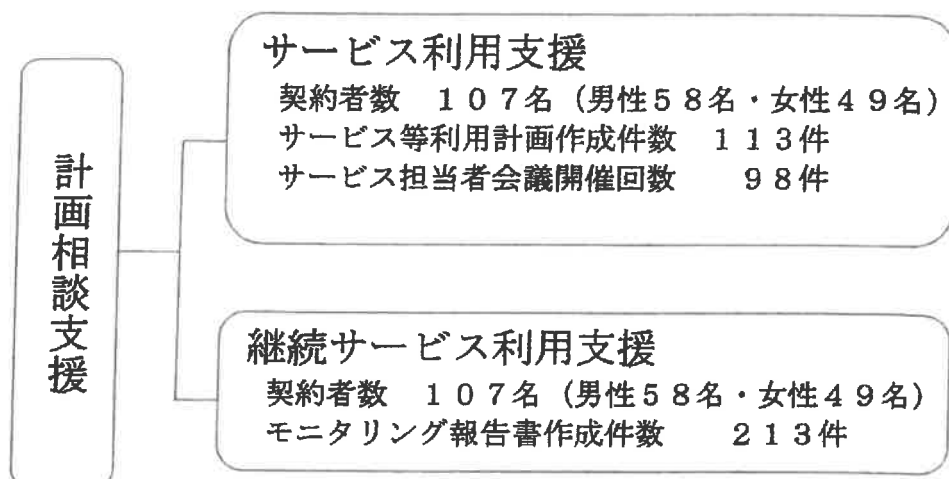
2ヶ月に一度の頻度で開催された江南市相談支援部会に参加し、市内の相談支援事業所の相談支援専門員との意見交換や情報共有をすることができた。また、新規のグループホーム等の事業所を見学し、情報収集を行い、利用者への情報提供につなげた。

行動障害のある方々に対して適切な計画相談支援等を実施するために、強度行動障害支援者養成研修を修了し、専門的な知識及び支援技術を学ぶことができた。

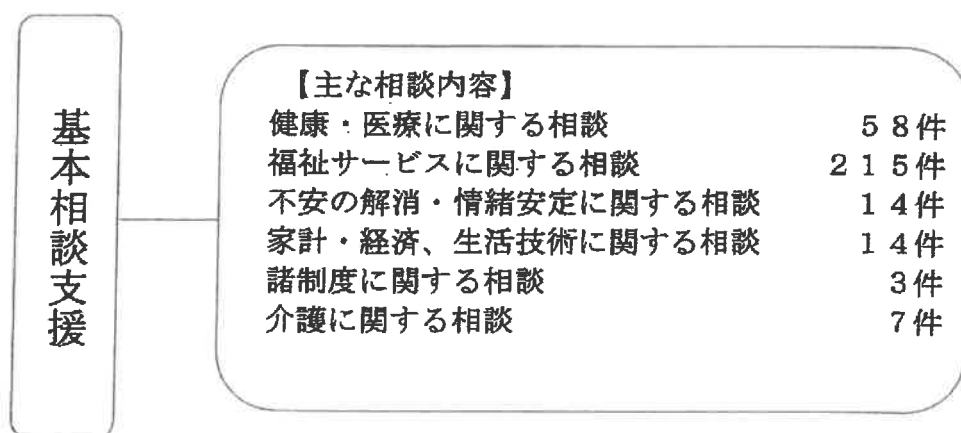
コロナ禍における計画相談の支援体制について、面談方法等の見直しを行い、電話での聴き取りを取り入れる等、利用者、ご家族にとって不利益のない計画相談に努めた。

事業内容

1 計画相談支援



2 基本相談支援



計画相談支援

1 サービス利用支援

障害福祉サービスの支給量更新時に合わせてサービス等利用計画案の作成を主に行った。支給更新時は、遅滞のないサービス等利用計画の作成に努め、利用者とその家族への聴き取りを行い、情報の収集やニーズを把握し、適切なサービス利用につなげることができた。また、サービス等利用計画の作成後はサービス担当者会議を開催し関係者間での情報共有や支援方法等について協議をすることができた。

新規利用契約を関係機関で役割分担を行い、サービス利用につなげることができた。サービス利用開始後も連携して、生活状況の改善に務めた。

2 継続サービス利用支援

定められた期間ごとにモニタリングを実施し、サービスの進捗状況や生活状況、ニーズの変化等を把握し適切なサービス利用へとつなげることができた。また、モニタリングの期間外でも生活環境の変化やニーズの変化等が見られた際にはその都度モニタリングを実施し、サービス事業所との調整やサービス内容の変更等により利用者と家族の安心安全な生活に務めた。

基本相談支援

障害者やその家族からの福祉や日常生活等の相談に対して、必要に応じて障害福祉サービス事業所や行政・医療機関等の専門機関の情報提供等を行った。

【主な相談内容】

障害福祉サービス利用に関する相談等が 64.7%を占め、最も多く、次いで健康・医療に関する相談が 17.4%であった。

会議研修等出席状況

(会議関連)			(研修関連)		
管理会議	年間	11回	施設内研修	年間	2回
職員会議	年間	12回	外部研修	年間	5回
サービス担当者会議	年間	98件			
(部会関連)					
江南市相談支援部会	年間	5回			

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別・障害等別）

令和4年3月31日現在

市町村名	性別		合計	障害等			
	男	女		知的	身体	精神	難病
江南市	49人	44人	93人	91人	9人	4人	0人
一宮市	3	2	5	6	3	0	0
岩倉市	1	0	1	1	1	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	2	0	2	2	0	0	0
合計	58	49	107	106	13	4	0

2 障害支援区分別

令和4年3月31日現在

区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	4人	22人	12人	20人	58人
女	1	0	1	8	13	15	11	49
合計	1	0	1	12	35	27	31	107

3 年齢別

令和4年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	2人	13人	26人	12人	1人	3人	58人	43.9歳
女	0	0	5	13	8	15	4	4	49	44.7
合計	0	1	7	26	34	27	5	7	107	44.3

4 月別支援状況

(1) 開所日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	21 ^日	18 ^日	22 ^日	20 ^日	18 ^日	20 ^日

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開所日数	21 ^日	20 ^日	20 ^日	19 ^日	18 ^日	22 ^日	239 ^日	19.9 ^日

(2) サービス等利用計画書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画作成件数	9件	8件	9件	8件	9件	11件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画作成件数	7件	8件	6件	13件	14件	11件	113件	9.4件

(3) モニタリング報告書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告書作成件数	18件	15件	22件	21件	19件	18件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告書作成件数	18件	17件	15件	16件	18件	16件	213件	17.8件

5 利用料収入の前年度比較

	金額
令和3年度	5,097,973 (円)
令和2年度	4,443,081 (円)
差引	654,892 (円)
前年比	114.7 (%)

サービス等利用計画の変更件数の増、及び報酬単価の改正、加算取得により昨年度より654,892円、率では14.7%の増収であった。

6 障害福祉サービス利用状況

障害福祉サービス		性別		合計
		男	女	
通所・在宅系サービス	生活介護	28人	20人	48人
	短期入所	32	16	48
	短期入所(療養型)	0	0	0
	居宅介護	1	3	4
	地域活動支援センター	5	3	8
	移動支援	4	3	7
	日中一時	1	2	3
居住系サービス	共同生活援助	1	8	9
	生活介護	22	23	45
	施設入所支援	22	23	45
合計		116	101	217

※重複利用があるため、契約者数とは一致しません。

令和3年度 ときわ作業所 事業報告書

1 ときわ作業所の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 事業所名 ときわ作業所
 所在地 江南市後飛保町高瀬69番地
 事業内容と定員 生活介護 55名(現員48名)
 対象者 障害支援区分が区分3以上の者
 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2以上である者
 職員数 [職員]・常勤14名(正規10名・契約4名)・非常勤9名
 計23名
 [他]・嘱託医(精神科)1名
 ・講師(音楽療法・軽運動)4名 計5名

職員 (単位：人)

	施設長	支援主幹 (サービス課長)	事務員	支援員	
				グループリーダー	支援員
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	1	※ ₃ 3	※ ₃ 3 (2)
女					※ ₃ 5 (5)
合計	1	1	1	11 (7)	

	看護師	合計
男		9 (2)
女	※ ₄ (2)	5 (7)
合計	(2)	14 (9)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、ときわホームサービス管理責任者を兼務

※₃は、ときわホーム生活支援員及び世話人を兼務

※₄は、内1名はときわホーム非常勤支援員を兼務

※₄は、内1名はあゆみ看護師を兼務

2 事業総括

生活介護

新型コロナウイルス感染予防として、法人内の他施設及び関係機関とも連携し、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP（事業継続計画）」を見直した。1月に利用者、職員から複数名の発症者があったが、療養期間後は大きな後遺症等なく過ごすことができた。その後も、利用者の安心安全を第一に支援を行った。

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、作業内容を見直したことで、障害の重度化、高齢化に合わせた作業工程となり、やりがいにつなげることができた。

余暇活動の経済活動は、感染予防のため中止となったが、社会見学は出張みかん狩り、音楽療法はクリスマス会と一体で実施することができた。

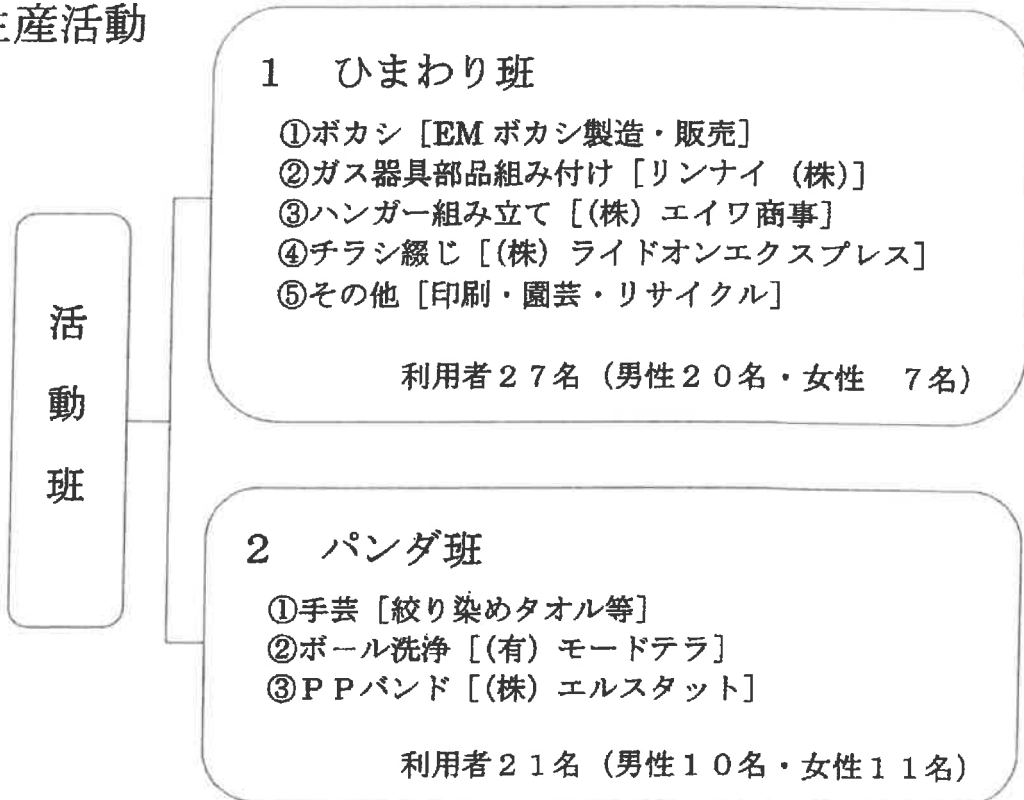
給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。また、直接希望や思いを伝えられる場として、給食連絡会議へ利用者が参加できるよう検討を進めた。

ときわホームのバックアップは、職員間で連携を図ることで、利用者の体調面及び精神面の把握をし、必要に応じた病院受診等の対応をすることができた。

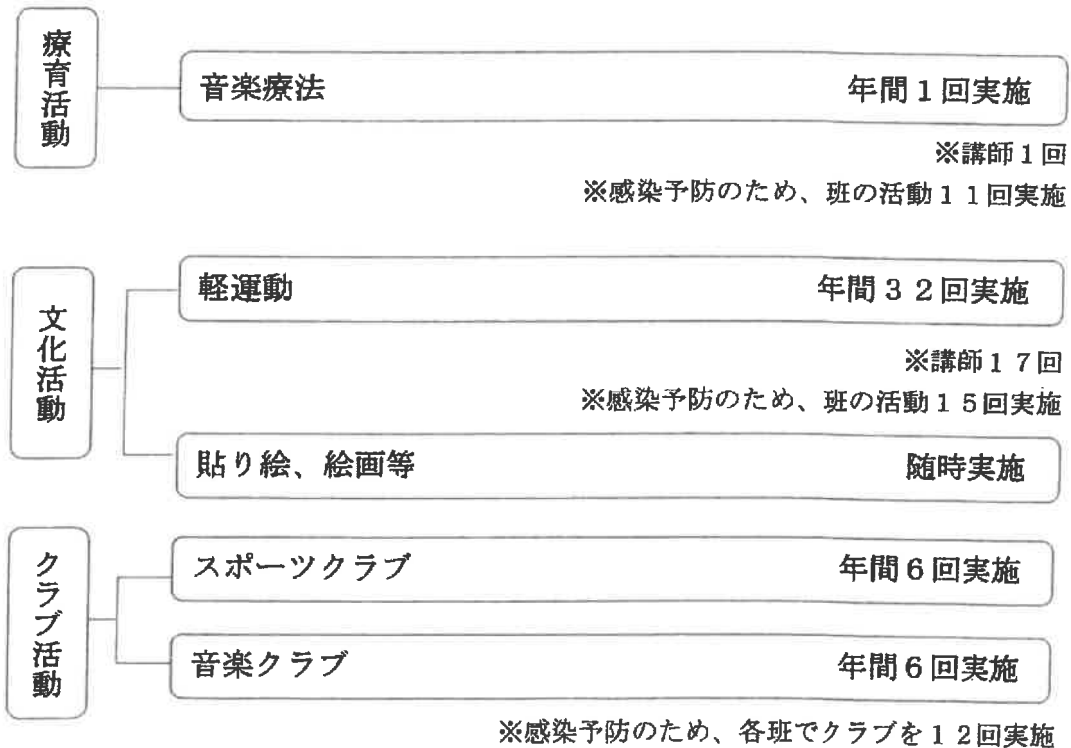
事業所の稼働日数は252日、平均利用人数は40.6人で利用率は83.1%であった。新型コロナウイルス発症に伴い、通所の自粛期間を設けたことにより、事業所の利用料収入は、額で昨年度より、2,763,573円、率では3.0%の減収であった。

事業内容

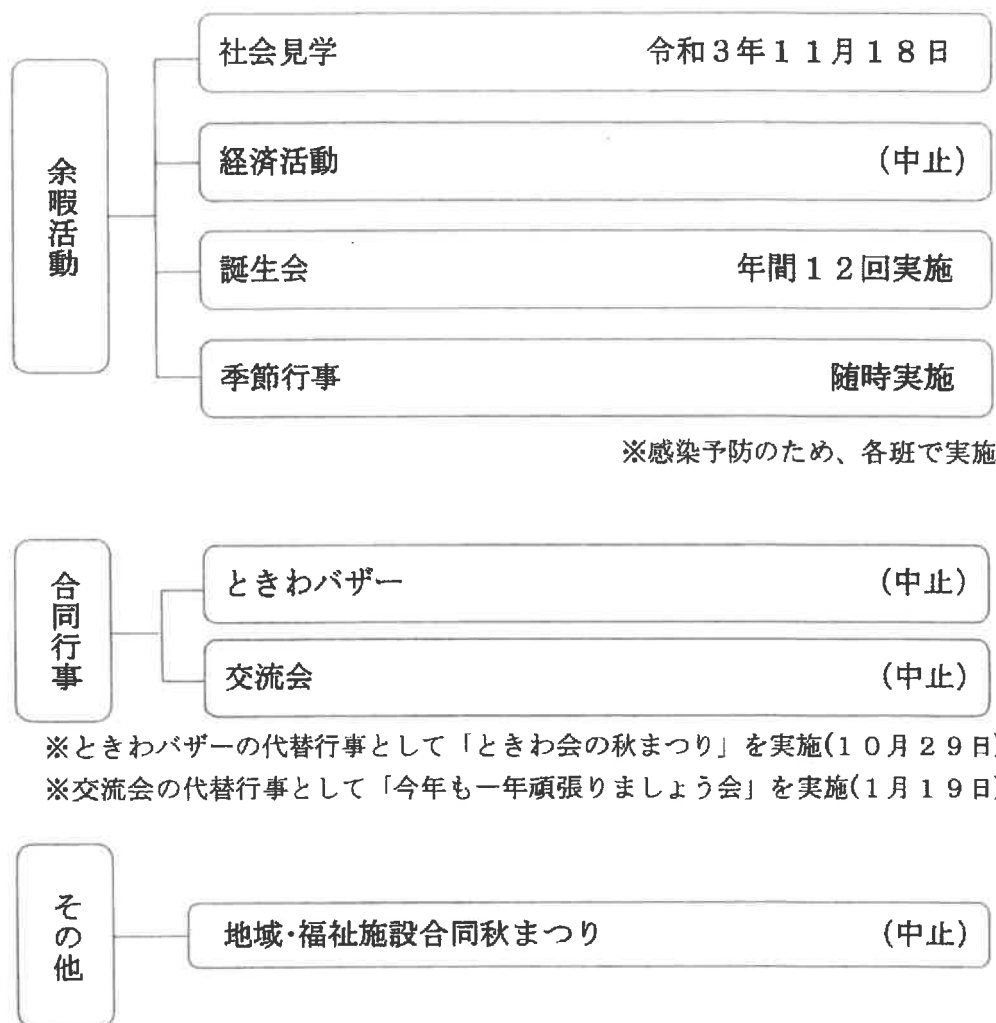
1 生産活動



2 創作的活動 (ときわ・小規模共通)



3 その他の活動 (ときわ・小規模共通)



4 健康支援

健康調査表や健康診断の結果の確認、日常の健康観察を行うことで、適切に健康面の把握をすることができた。また、歯科健診の実施や歯科衛生士による「歯磨き指導」を書面で通知し、保護者とも連携し実施をした。継続して実施してきたことで、歯磨きの習慣が付いてきており、歯と歯肉、口腔内の健康の保持増進につなげることができた。

5 給食支援

委託業者と連携を図り、身体状況に応じた刻み食の提供や残食量の把握、選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。

衛生面については、感染症予防の徹底や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

直接希望や思いを伝えられる場として、給食連絡会議へ利用者が参加できるよう検討を進めた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況については、朝礼や終礼を通して情報の共有を図り、利用者の体調面及び精神面の把握に努めたことで、日中の利用者支援の向上にもつなげることができた。

7 中期計画の令和3年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し

利用率等を検証した結果、利用者が毎日楽しく通所できる事業所としてサービスを提供していくためには、現状は55名定員の維持が必要であることが把握できた。また、指定管理事業の動向を踏まえ、引き続き検証をしていく~~必要がある~~
~~ことも確認できた。~~

イ 事業所の大規模修繕

障害の重度化や高齢化に合わせて設備の適切な維持管理に努めた。利用者が安心安全に利用できるよう、ソファベッドの入れ替えや障害に合わせて使用する椅子の徹底等を進めた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 班活動、日課の見直し

生産活動は、障害の重度化、高齢化に合わせて、やりがいを持って取り組める作業内容に見直した。創作的活動等については、感染予防をしながら各班中心での活動が有意義になるよう、利用者の要望に寄り添い実施した。また、できる限り活動を止めることなく、安心安全に実施できるよう検討を進めたことで、事業所敷地内での社会見学等、新しい形の活動に結び付けることができた。

開所時間の変更も視野に入れた日課を検討する中で、朝の会や帰りの会の内容を充実させたことで、日課や行事の事前周知の徹底にもつなげることができた。

イ 工賃の見直し

利用者の障害の重度化、高齢化に合わせた作業内容に見直した中で、令和2年度と同様の工賃の支給ができた。また、個別支援計画と連動した工賃基準の確立に向け、作業工程の検証を実施した。

ウ 送迎サービスの見直し

利用者の事業所への通所を確保するとともに、家族の高齢化等に伴う送迎の負担軽減を図ることを目的とし、1回平均10名以上の送迎が実施できる体制を整えた。また、保護者の病気や急なけがに伴う、緊急利用の送迎サービスを2名の対象者に実施した。

生産活動報告

1 ひまわり班

①ボカシ [EMボカシ製造・販売]

多くの利用者が製品になるまでの工程に携われるよう、工程毎に分担し取り組むことで責任感を養うことができた。販売店への納品は毎週2回行い、売上数や商品の状態を把握することで、品質を一定に保つことができた。また、納品先の職員や地域の方々からも挨拶や励ましの言葉をいただき、利用者の作業意欲向上につながった。

②ガス器具部品組み付け [リンナイ(株)]

資材の組み付けでは多くの利用者が携わることができるよう補助具の工夫をした。組付け以外にも、納品箱の清掃や納入カードの準備、トラックの積み下ろしや納品等、利用者が幅広い工程に携わり、自信につながるよう努めた。また、かんぼん(資材)管理表を基に業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れずに対応することができた。

③ハンガー組み立て [(株)エイワ商事]

作業工程を見直し、利用者に分かりやすく説明することで、作業の大切さを自覚し、質の良い製品作りができた。利用者の特性に合わせた工程を設けることで、多くの利用者が携わる作業として定着し、作業意欲の向上につながった。また、他の利用者と協力して取り組むことで、達成感や充実感に結びつけることができた。

④チラシ綴じ [(株)ライドオンエクスプレス]

宅配寿司販促チラシの中に、宅配釜飯販促チラシを綴じる作業に取り組んだ。枚数を数える工程やチラシを綴じる工程等、障害の程度や年齢等に関わらず取り組むことができる工程を設けた。作業工程を確認しながら取り組むことで、多くの利用者が携わることができる作業として定着した。また、自らが携わるチラシが近隣の家庭(自宅)に配布されることで、社会とのつながりを感じることができた。

⑤その他 [印刷・園芸・リサイクル]

利用者の重度化、高齢化に合わせ工程を見直したことで、利用者同士が協力しながら取り組み、やりがいにつながることができた。

○主な作業内容

[印刷] 名刺(在庫分のみ対応)

[園芸] サツマイモの栽培、葉ボタン鉢植え

[リサイクル] 段ボール、アルミ缶の仕分け

2 パンダ班

①手芸 [絞り染めタオル等]

絞り染めについては、作業工程を増やしたことで、仕上がりの模様を楽しみにし、やりがいを持って多くの利用者が携わることができた。感染予防の観点から市役所のロビー販売や各種バザー販売への参加はなかったが、保護者会終了後や帰宅の際に販売をすることで製品作りの喜びや充実感を得ることができた。

②ボール洗淨 [有)モードテラ]

障害の特性に合わせて作業工程を工夫したことで、障害の程度に関わらず多くの利用者が携わることができる作業として定着した。また、作業工程を丁寧に説明し、必要な備品を整えることで、丁寧に洗淨やふきとりをすることができた。納品業務をとおして社会との関りを持つことができる機会となるよう、納品参加の再開に向け検討を進めた。

③PPバンド [株)エルスタット]

バンドのカット、パーツ付け、結び付けと各工程を交代しながら行うことで、製品の完成につながった。各工程のチェックポイントをお互いが気付き合うことにより、連帯感を感じながら行うことができた。また、工程によっては、他の利用者と協力をして行う工程があり、個々の役割を果たす責任感や相手のことを思いやる協調性を養うことができた。

創作的活動報告 (ときわ・小規模共通)

1 療育活動

音楽療法

12月はクリスマス会と合同で、班毎に音楽療法士によるミニライブを実施した。サプライズゲストとして招き、クリスマスソングの演奏に合わせて、一緒に楽器や手拍子をして楽しみ、笑顔で参加をされていた。

班毎に音楽に親しみ、心身のリフレッシュや情緒の安定につながる機会として活動をした。

年間12回実施 (外部講師1回、班の活動11回)

2 文化活動

①軽運動

障害の重度化、高齢化や運動不足に対応することを目的に外部講師を招き、班単位での活動に限定して実施をした。利用者の状況に合わせた活動となるように事前に打ち合わせをして実施することで、活動を楽しみにする利用者も多く、運動への意識を

高めることができた。また、日中活動にメリハリが付き、余暇の過ごし方や興味の幅を広げることができた。

年間32回実施（外部講師17回、班の活動15回）

ストレッチ、ポッチャ、フライングディスク

②貼り絵、絵画等

四季や季節の行事に応じた作品を作ることで、物を作る楽しさを感じることができた。12月に実施した事業所内の作品展に向けて班毎に共同作品を協力しながら作成することで、仲間と一緒に作り上げる喜びや達成感につなげることができた。

随時実施

3 クラブ活動

①スポーツクラブ

感染予防の観点から、班単位でクラブ活動を実施した。盆踊りやフォークダンス、ポッチャ等の運動やオリンピックに関連したクイズやスポーツ観戦を行った。楽しく運動をすること、運動の大切さを学ぶことができた。

年間6回実施（班の活動6回）

②音楽クラブ

感染予防の観点から、班単位でクラブ活動を実施した。イントロクイズ、楽器演奏や音楽鑑賞など、利用者の希望を取り入れた活動としたことで、楽しく自発的に参加できる活動となった。

年間6回実施（班の活動6回）

その他の活動報告（ときわ・小規模共通）

1 余暇活動

①社会見学

事業所敷地内で出張みかん狩りを行った。例年とは違った形態での社会見学となったが、みかんの育て方についても学ぶことができ、他の利用者と一緒に楽しみながら教養を高め、集団行動の中でのマナーも身に付ける機会となった。

実施日 令和3年11月18日

内容 出張みかん狩り

②経済活動

感染予防のため中止。

③誕生会

各班で利用者中心の誕生会を実施。皆で準備をして行うことで、仲間から祝福される喜びを感じるとともに、仲間を祝福する気持ちも育むことができた。

年間12回実施

④季節行事

感染予防の観点から、地域との関わりは限定されたが、各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取ることができた。

主な季節行事

なかよし会（11月11日）

感染予防の観点から、事業所内で班毎に実施した。魚釣りやモップリレー、パターゴルフを楽しく行う中で、協調性を養うことができた。

クリスマス会（12月22日）

音楽療法士によるサプライズのミニライブを実施した。クリスマスソングの演奏に合わせて、一緒に楽器や手拍子をして楽しんだ。各班での実施となったが、的当てやビー玉転がしのゲームに笑顔で参加し有意義な時間となった。

2 合同行事

①ときわバザー（令和3年10月29日）

感染予防のため中止となったが代替行事としての「ときわ会の秋まつり」を事業所毎に実施し、ベビーカステラを食べ、スタンプラリーをして楽しんだ。スタンプラリー中は、わずかな時間ではあったが、事業所間での交流をすることができた。

②交流会（令和4年1月19日）

感染予防のため中止となった。代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を事業所毎で実施した。

3 その他

①地域・福祉施設合同秋まつり

感染予防のため中止。

令和3年度 ときわ作業所行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5.22	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4.21 ~5.5	藤まつり (中止)
7.1	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5.23 6.6	こどもフェスティバル (中止) きそがわほのぼのまつり (中止)
9.25	地域・福祉施設合同秋まつり (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		
9.30	歯科健診	尾北歯科医師会		古知野高校文化祭 (参加中止) ふれあいガーデン (中止)
10.6	いも掘り			
10.20	いも掘り			
10.29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
10.31	第41回ときわバザー (中止)			
11.11	なかよし会 (事業所内行事に変更)			
11.18	社会見学 (出張みかん狩り)		11.13 ~14	こうなん産業フェスタ (中止)
12.22	クリスマス会			
1.19	交流会 (中止) 今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
3.1	健康診断	藤原医師		たけのこまつり (中止) いずみまつり (中止)
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		古知野高校	7名 (7月~8月)
誕生会	12回実施		尾北看護専門学校	3名 (2月~3月)
クラブ活動	12回実施 (各班で12回実施)			
経済活動	0回実施			
避難訓練	3回実施 (内1回水防)			
保護者会	12回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1 市町村別

令和4年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	28人	16人	44人	6人	13人	25人
一宮市	2	2	4	0	0	4
扶桑町	0	0	0	0	0	0
合計	30	18	48	6	13	29

2 障害支援区分別

令和4年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	2人	11人	11人	6人	30人
女	0	0	5	4	8	1	18
合計	0	0	7	15	19	7	48

3 年齢別

令和4年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	3人	12人	11人	3人	1人	30人	40.3歳
女	0	5	2	5	6	0	18	41.7
合計	0	8	14	16	9	1	48	40.8

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	925人	840人	960人	891人	811人	924人
稼働日数	21日	20日	22日	21日	20日	22日
1日当たり 平均利用人数	44.0人	42.0人	43.6人	42.4人	40.6人	42.0人
契約人数	49人	49人	49人	49人	49人	49人
利用率	89.9%	85.7%	89.1%	86.6%	82.8%	85.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	923人	891人	883人	489人	714人	981人	10,232人	852.7人
稼働日数	22日	21日	21日	20日	19日	23日	252日	21.0日
1日当たり 平均利用人数	42.0人	42.4人	42.0人	24.5人	37.6人	42.7人		40.6人
契約人数	49人	49人	49人	49人	48人	48人	586人	48.8人
利用率	85.6%	86.6%	85.8%	49.9%	78.3%	88.9%		83.1%

利用率 定員55人のところ契約人員48人 平均利用人数40.6人 利用率83.1%

年間延べ10,232人が利用

年間稼働日数 252日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 事業所本体

	生活介護	特定費用等	金額
令和3年度	84,640,594円	3,437,984円	88,078,578円
令和2年度	87,511,863円	3,330,288円	90,842,151円
差引	-2,871,269円	107,696円	-2,763,573円
前年比	96.7%	103.2%	97.0%

利用料収入は、事業所開所日の2日減少、新型コロナウイルス感染症の発症者が出たことに伴う通所自粛要請期間等で利用率が下がり、2,763,573円の減収となった。

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
令和3年度	3,299,980 円
令和2年度	5,389,294 円
差 引	-2,089,314 円
前 年 比	61.2 %

前年度に比較して、額で2,089,314円、率で61.2%の減収であった。

(2) 内訳

①自主作業収入

	金 額
令和3年度	693,525 円
令和2年度	1,930,264 円
差 引	-1,236,739 円
前 年 比	35.9 %

②下請作業収入

	金 額
令和3年度	2,606,455 円
令和2年度	3,459,030 円
差 引	-852,575 円
前 年 比	75.4 %

自主作業収入は、前年度に比較して、1,236,739円の減収であった。

下請作業収入は、前年度に比較して、852,575円の減収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合計
		30人	18人	48人
食 事	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	16	13	29
	自立(見守り・声掛け)	14	5	19
排 泄	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	21	11	32
	自立(見守り・声掛け)	9	7	16
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	13	13
	自立(見守り・声掛け)	—	5	5

令和3年度 ときわホーム 事業報告書

1 ときわホームの運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 事業所名 ときわホーム「ニコット」
 所在地 江南市河野町五十間115番地
 事業内容と定員 共同生活援助(介護サービス包括型)事業 6名(現員6名)
 職員等 [職員]・常勤11名(正規9名・契約2名)・非常勤7名
計18名

職員

(単位：人)

	施設長	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1		※ ₃ 6	8
女			※ ₃ 2 (3)	※ ₃ 1 ※ ₄ (4)	3 (7)
合計	1	1	2 (3)	7 (4)	11 (7)

() 内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所及び江南市心身障害者小規模授産施設施設長を兼務

※₂は、ときわ作業所サービス管理責任者を兼務

※₃は、ときわ作業所生活支援員を兼務

※₄は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防として、法人内の他施設及び関係機関とも連携し、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP(事業継続計画)」を見直し、利用者の感染リスクの回避と健康を第一に支援を行った。

6名の利用者が良好な関係を築き、共同生活の役割を担い、自立した生活を送ることを目標に支援した。6名がお互いに「協力すること」を意識し、一人ひとりが相手を思いやる気持ちを持って行動することができるよう支援をした。また、支援員や世話人の傾聴を徹底し、利用者会議で要望を確認した。ジュース購入の柔軟な対応や生活上の約束事を見直したことで、より充実した生活につなげることができた。

食事は感染予防のため、各居室で摂る支援を継続した。日中活動の場である、ときわ作業所の給食と献立が重ならないように配慮をし、季節に応じた食べ物や誕生者のリクエストを加えるなど楽しみの持てる献立に努めた。

行事、周辺の散歩、昼食のデリバリー等の取り組みを増やしたことで、週末をホームで過ごす利用者の充実した生活につなげることができた。

ホームの一日の平均利用人数は5.5人で利用率は92.2%であった。利用料収入は、週末の稼働率が上がったため、前年度に比べて額で351,343円、率では3.0%の増収であった。

事業内容

1 健康支援

利用者の健康管理は、朝の体温測定やバックアップ事業所(ときわ作業所)の看護師と連携し、血圧や体重などのバイタルチェックを行うことで健康な生活を送ることができた。また、体調不良が見られた際には嘱託医への相談、適切に通院の対応をすることで大病になることなく元気に過ごすことができた。

11月には希望者を対象に、嘱託医によるインフルエンザ予防接種をバックアップ施設(ふじの木園)で実施することができた。

2 余暇支援

①外出・休日余暇活動

感染予防に努めながら、昼食のテイクアウトやデリバリー、弁当購入等の実施やジュース購入を兼ねた周辺散策を行った。また、室内運動やプラパンでキーホルダーを作成する等、休日の活動を充実させた。

外出の機会を増やすことができるよう、週末の買い物等の在り方について検討を進めた。

[実施回数] 随時外出

休日余暇活動5回

②誕生会

事前の飾りつけを利用者中心で行い、誕生者を皆でお祝いした。誕生者については、一年間健やかに過ごせたことを皆に感謝することができた。誕生者のリクエストメニューの夕食は、皆でお祝いをした後に各居室で食べる対応を継続した。

[実施回数] 年6回実施

③季節行事

春のお花見会は密を避けた対応としてホーム周辺を散策し、季節の移り変わりを感じることができた。秋の十五夜には月見のお供えを飾り、年末の忘年会では各自一年間の反省と目標を発表する有意義な時間となった。また、試行的にハロウィンパーティーを実施し、ハロウィンにちなんだリビングの飾り付けや食事を楽しみ、有意義な活動となった。

[実施回数] 年4回実施

3 地域生活支援

月2回ある不燃ごみのゴミ出しの日は、指定の収集場所で地域の方たちと挨拶を交わしながら分別処理を行った。近隣の福祉施設が合同で地域住民の方たちとの交流を目的として開催する「地域・福祉施設合同秋まつり」は感染予防のため、中止となった。

[実施回数] 随時

4 入院時・外泊時の支援

外泊時は、必要に応じ家庭に連絡し、本人の状態把握等を行った。

5 バックアップ施設、関係機関との連携

バックアップ施設と情報共有をしながら利用者の活動を支援した。また、緊急時や利用者の体調不良等の場合には、日中の時間帯はバックアップ事業所(ときわ作業所)と連絡調整し適切に対応した。

6 中期計画の令和3年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

週末の支援体制

週末のホーム稼働日は増加してきており、安定した支援体制がとれるよう、常勤職員の世話人業務日を増やして対応した。

(2) 利用者サービスの向上

ア 日課の見直し

土日の外出活動の充実については、喫茶や買い物等の外出は慎重に検討しながら、ホーム周辺の散歩や室内での余暇活動の充実を図りました。昼食のデリバリーやハロウィンパーティー、室内運動等の新たな活動内容を取り入れ、利用者の楽しみとなる活動を行うことができた。

イ 利用者支援の見直し

利用者の健康面や精神面について、共通認識を持って統一した支援を行った。病院受診の必要性がある利用者の増加に伴い、夜間や休日の体調変化にも適切な対応が取れるよう、訪問看護ステーションとの医療連携に向けて調査を開始した。

ホーム会議や世話人会で利用者一人ひとりの生活状況の把握と再確認を行うとともに、利用者会や家族会の内容も確認することで共有を図った。

(3) 設備等ハード面の充実

スプリンクラーの設置

今後の利用者の障害の重度化、高齢化に備え、事業運営が継続して行えるようスプリンクラーの整備に向け、特定施設水道連結型設備とパッケージ型自動消火設備の調査を開始した。

令和3年度 ときわホーム 行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	関 係 団 体 行 事
4. 9 29	誕生会 休日余暇活動(周辺散策)		
6. 5	休日余暇活動(テイクアウト)		
8. 27	誕生会		
9. 10 23 24	誕生会 休日余暇活動(デリバリー) 花火会	9. 25	地域・福祉施設合同秋まつり (中止) [地域福祉施設合同行事運営委員会]
10. 1 15 23	お月見 避難訓練 ハロウィンパーティー		
11. 16 23	インフルエンザ予防接種 休日余暇活動(テイクアウト)		
12. 17	忘年会		
1. 7 14	水害訓練 誕生会		
2. 4 9	誕生会 誕生会		
3. 25 26 29	避難訓練 休日余暇活動(ドライブ・弁当購入) 送別会		
[各種会議・研修・その他] ホーム会議 [12回実施] 世話人会 [12回実施] 家族会 [4回実施] 利用者会 [12回実施]			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況（市町村別）

令和4年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	0人	5人	0人
一宮市	0	1	1	0	0	1	0
合計	0	6	6	0	0	6	0

2 障害支援区分別

令和4年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	4	2	0	0	6
合計	0	0	4	2	0	0	6

3 年齢別

令和4年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	2	4	0	6	51.7
合計	0	0	0	0	2	4	0	6	51.7

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	169人	159人	160人	175人	169人	174人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり平均利用人数	5.6人	5.1人	5.3人	5.6人	5.5人	5.8人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	93.9%	85.5%	88.9%	94.1%	90.9%	96.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	174人	173人	169人	159人	159人	178人	2,018人	168.2人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日	30.42日
1日当たり平均利用人数	5.6人	5.8人	5.5人	5.1人	5.7人	5.7人		5.5人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人		
利用率	93.5%	96.1%	90.9%	85.5%	94.6%	95.7%		92.2%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数5.5人 利用率92.2% 年間延べ2,018人が利用

年間稼働日数 365日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先		人数	
就 労		0人	
サ 障 害 ビ 福 ス 社	生活介護	6人	
	就労移行支援	0人	
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
	地域活動支援センター	I型	0人
II型		0人	
III型		0人	
合 計		6人	

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	介護給付費	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和3年度	9,261,597円	720,000円	1,944,000円	11,925,597円
令和2年度	8,910,254円	720,000円	1,944,000円	11,574,254円
差 引	351,343円	0円	0円	351,343円
前年比	103.9%	100.0%	100.0%	103.0%

令和3年度 江南市心身障害者小規模授産施設 事業報告書

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体	江南市
経営主体	社会福祉法人 ときわ会
事業種別	地域生活支援事業
事業所名	江南市心身障害者小規模授産施設
所在地	江南市後飛保町高瀬66番地
事業内容と定員	地域活動支援センター（Ⅲ型） 概ね15名（現員11名）
対象者	市内在住の障害者（障害支援区分の区分制限なし）
職員数	常勤5名（正規3名・契約2名）・非常勤1名 計6名

職員

（単位：人）

	施設長	事務員	指導員	合計
男	※ ₁ 1		1	2
女		※ ₂ 1	2（1）	3（1）
合計	1	1	3（1）	5（1）

（ ）内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、あゆみ事務員を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防として、法人内の他施設及び関係機関とも連携し、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、法人共通の「新型コロナウイルス発生時におけるBCP（事業継続計画）」を見直した。1月に一体で活動するときわ作業所の利用者、職員から複数名の新型コロナウイルス発症者があり、通所の自粛期間を設けたが、利用者の安心安全を第一に継続して支援を行った結果、発症者はなく元気に通所することができた。

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、作業内容を見直したことで、利用者の障害の重度化、高齢化に合わせた作業工程となり、やりがいにつなげることができた。

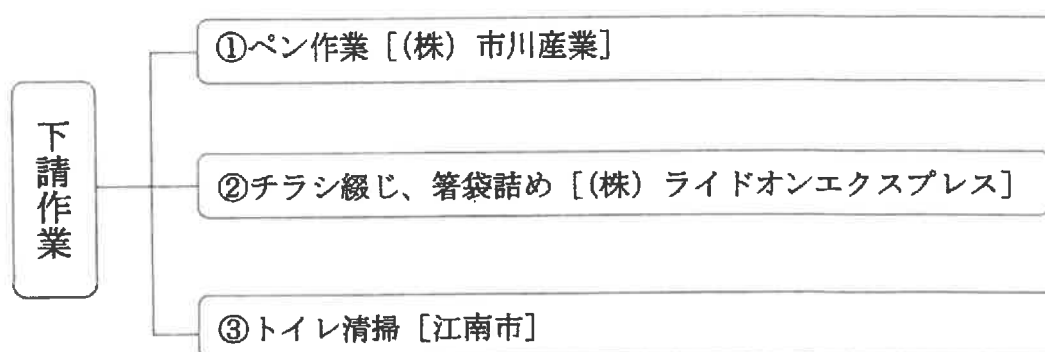
ガーデニングについては、皆で話し合いをして馴染みのある野菜の栽培をした。野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫した野菜を皆で食べ達成感を得ることができた。また、グリーンカーテンづくりや季節に合わせた花を育て、季節感や清涼感を得ることができた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。衛生面についても、感染症予防の徹底や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。また、直接希望や思いを伝えられる場として、給食連絡会議へ利用者が参加できるよう検討を進めた。

施設の稼働日数は252日、平均利用人数は9.4人で利用率は85.9%であった。

事業内容

1 生産活動



2 中期計画の令和3年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

指定管理について

第4期指定管理契約（令和3年4月1日から3年間）を江南市と締結した。江南市指定管理事業（小規模授産施設）を利用する者の手続きの負担軽減等を目的に市から法人へ権限が一部移譲された。

【第3期指定管理契約からの主な変更点】

- ・利用許可権者を市から法人に権限移譲。
- ・自己負担金の徴収を市から法人に権限移譲。

(2) 利用者サービスの向上

（ときわ作業所と一体で実施）

生産活動報告

下請作業

① ペン作業 [(株) 市川産業]

作業の種類、工程ともに多い仕事であるが、個々の利用者が理解して取り組むことのできる工程も増え、丁寧かつ正確に、資材の不良がないかまで確認しながら作業に取り組むことができた。資材の受け渡しは業者の生産予定と施設の日程等を事前に調整することで、納期に間に合うように責任感を持ちながら協力して取り組むことができた。また、納品業務へも多くの利用者が携わることができた。

② チラシ綴じ、箸袋詰め [(株) ライドオンエクスプレス]

宅配寿司販促チラシの中に、宅配釜飯販促チラシを綴じる作業と、1～5人前分の皿、醤油、箸をセットにして袋に詰める作業を作業開始前の手洗いや消毒を徹底して取り組んだ。作業内容を丁寧に説明し、工程を工夫することで、多くの利用者が作業に関わることができた。資材は丁寧に扱い、汚れや変形が起きないように気をつけながら、綴じ忘れや数の入れ間違いをせずに納品ができるよう、責任感を持って取り組むことができた。また、自らが携わるチラシが近隣の家庭(自宅)に配布されることで、地域とのつながりを感じることができた。

③ トイレ清掃 [江南市]

トイレ内の床や便器の清掃と拭き取り、消毒に至る一連の流れについて丁寧に取り組み、清潔なトイレ環境を保つことに努めた。利用者は当番制で行い、毎回、当番を確認しながら各々が責任を持って取り組むことができた。

創作的活動報告

1 療育活動

※ときわ作業所と一体で実施

2 文化活動

① 貼り絵、絵画、ストレッチ等

※ときわ作業所と一体で実施

②ガーデニング

皆と話し合って栽培する野菜と草花を決め、季節に合わせてキュウリやミニトマト等の野菜やチューリップやコスモス等の草花を栽培した。野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫した野菜を皆で食べ達成感を得ることができた。また、朝顔によるグリーンカーテンづくりでは、自然の日よけとして清涼感を得ることができた。

3 クラブ活動

※ときわ作業所と一体で実施

その他の活動報告

※ときわ作業所と一体で実施

行事報告

※ときわ作業所と一体で実施

令和3年度 小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等		月 日	他団体協力バザー
5. 22	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)	県社会福祉協議会	4. 21 ～5. 5	藤まつり (中止)
7. 1	健康診断 (移動検診車)	名古屋公衆医学研究所	5. 23 6. 6	こどもフェスティバル (中止) きそがわほのぼのまつり (中止)
9. 25	地域・福祉施設合同秋まつり (中止)	地域・福祉施設合同 行事運営委員会		古知野高校文化祭 (参加中止) ふれあいガーデン (中止)
9. 30	歯科健診	尾北歯科医師会		
10. 6	いも堀り			
10. 20	いも堀り			
10. 29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
10. 31	第41回ときわバザー (中止)			
11. 11	なかよし会(事業所内行事に変更)		11. 13 ～14	こうなん産業フェスタ (中止)
11. 18	社会見学 (出張みかん狩り)			
12. 22	クリスマス会			
1. 19	交流会 (中止) 今年も一年頑張りましたろう会 (交流会代替行事)	ときわ作業所・小規模 ふじの木園・あゆみ合同		
3. 1	健康診断	藤原医師		たけのこまつり (中止) いずみまつり (中止)
その他			事業所実習	
身体測定	12回実施		古知野高校	7名 (7月～8月)
誕生会	12回実施		尾北看護専門学校	3名 (2月～3月)
クラブ活動	12回実施 (各班で12回実施)			
経済活動	0回実施			
避難訓練	3回実施 (内1回水防)			
保護者会	12回実施			
医療相談	12回実施			

利用者の状況

1. 利用状況

令和4年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	5人	6人	11人	0人	0人	11人
合計	5	6	11	0	0	11

2. 年齢別

令和4年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	0人	4人	0人	0人	5人	38.2歳
女	0	1	5	0	0	0	6	35.3
合計	0	2	5	4	0	0	11	36.6

3. 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	198人	200人	225人	210人	193人	208人
稼働日数	21日	20日	22日	21日	20日	22日
1日当たり 平均利用人数	9.4人	10.0人	10.2人	10.0人	9.7人	9.5人
契約人数	11人	11人	11人	11人	11人	11人
利用率	72.5%	76.9%	78.7%	76.9%	74.2%	72.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	216人	213人	206人	108人	172人	232人	2,381人	198.4人
稼働日数	22日	21日	21日	20日	19日	23日	252日	21.0日
1日当たり 平均利用人数	9.8人	10.1人	9.8人	5.4人	9.1人	10.1人		9.4人
契約人数	11人	11人	11人	11人	11人	11人	132人	11.0人
利用率	75.5%	84.5%	81.7%	45.0%	75.4%	84.1%		85.9%

利用率 定員概ね15人のところ契約人員11人 平均利用人数9.4人 利用率85.9%

年間延べ2,381人が利用

年間稼働日数 252日

4. 生産活動収入の状況

	金額
令和3年度	859,423円
令和2年度	810,224円
差引	49,199円
前年比	106%

前年度に比較して49,199円、率で6%の増収であった。

令和3年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ 事業報告書

1 あゆみの運営

設置主体	江南市
経営主体	社会福祉法人 ときわ会
事業種別	地域生活支援事業
事業所名	江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ
所在地	江南市後飛保町平野75番地2
事業内容と定員	(1) 地域活動支援センター(Ⅱ型) 1日25名 (2) 貸館事業 随時
対象者	地域活動支援センター(Ⅱ型) 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし) 貸館事業 障害者の介護者・障害者団体・ボランティア団体
職員等	[職員]・常勤4名(正規2名・契約2名)・非常勤6名 計10名 [他]・講師(日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法・ 和太鼓療法・書画・パソコン) 計6名

職員

(単位：人)

	施設長 兼指導主幹	指導員	事務員	運転手	看護師	合計
男				(1)		1 (1)
女	1	2 (3)	※ ₁ 1		※ ₂ (2)	4 (5)
合計	1	2 (3)	1	(1)	(2)	4 (6)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設事務員を兼務

※₂は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防対策を実施する中、基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター事業を行った。

感染予防対策として、法人共通の感染予防マニュアルに基づき、地域の発生状況や対策の変更等の把握に努め、利用者の感染リスクの回避と健康を第一に支援を行った。

地域活動支援センターの利用状況は、5月に1名、1月に2名の利用者が退所し、3月31日現在で9名が契約している。

事業面では、令和2年度から開始した機能訓練を取り入れた日課において、毎

日訓練を行うことで意識付けることができた。

健康面では、看護師による健康チェックのほか、日々、血中の酸素飽和度の測定を実施した。職員間で情報を共有し体調から精神面までを把握し、利用者支援の向上に努めた。また、アクリル板、フェイスシールドを整備し活用している。

その他、第6回を迎えた「あゆみエンジョイ Summer」は消毒や換気を徹底し、あゆみ利用者へのみの参加に変更したことで中止することなく実施することができた。

貸館事業においては、利用はなかった。

事業内容

1 基本事業

①機能訓練（5事業 60回実施）

ア 日常生活動作訓練（15回実施 88人利用）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や軽運動を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（17回実施 118人利用）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（7回実施 46人利用）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（15回実施 82人利用）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月2回行った。

オ 和太鼓療法（6回実施 33人利用）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

②社会適応訓練（2事業 43回実施）

ア パソコン（31回実施 187人利用）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ（12回実施 64人利用）

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、月1回行った。

③創作的活動（2事業 244回実施）

ア 書画（6回実施 38人利用）

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業（238回実施 1,264人利用）

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション（12回実施 71人利用）

レクリエーション活動を月1回行った。（スポーツ大会、クリスマス会等）

⑤入浴（241回実施 1,093人利用）

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎（734回実施 1,856人利用）

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導（0回実施 0人参加）

新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

⑧健康指導（292回実施 292人利用）

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

①第41回ときわバザー（令和3年10月29日）

感染予防のため中止となったが代替行事としての「ときわ会の秋まつり」を事業所毎に実施し、ベビーカステラを食べ、スタンプラリーをして楽しんだ。

②交流会（令和4年1月19日）

新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。昨年同様、代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を各事業所で実施した。食事会や市長の挨拶、法人の各事業所の一年の様子をまとめたDVDを鑑賞した。また、職員顕彰も行った。午後はあゆみ新年会として新春紙相撲大会を行うなど楽しい時間を過ごすことができた。

3 貸館事業

- ・施設利用（0回実施 0人利用）

4 中期計画の令和3年度の取り組み

令和3年度中期計画

（1）今後の事業の方向性

指定管理について

第4期指定管理契約（令和3年4月1日から3年間）を江南市と締結した。江南市指定管理事業（小規模授産施設）を利用する者の手続きの負担軽減等を目的に市から法人へ権限が一部移譲された。

【第3期指定管理契約からの主な変更点】

- ・利用許可権者を市から法人に権限移譲。
- ・自己負担金の徴収を市から法人に権限移譲。

（2）利用者サービスの向上

新型コロナウイルス感染予防対策としてアクリル板の設置のほか、換気、消毒の徹底を継続して行う中で、利用者の状態に合わせた日課、講座、軽作業、入浴、送迎サービス等を実施した。令和2年度より開始している機能訓練を取り入れた日課は、利用者の身体機能の維持向上に向けて取り組み、定着することができた。行事のあゆみエンジョイSummerにおいては、コロナ禍のため他事業所との交流はできなかったもののゲームやフルーツサンドのキッチンカーを活用し、買い物の体験や和太鼓演奏を実施した。また、福祉見聞録を使用した看護記録様式での記録を開始し、利用者の健康管理に努めた。

（3）設備等ハード面の充実

日常生活訓練室や作業室のエアコンが経年劣化による故障で、不具合が生じたが、部品の加工や洗浄処置をすることで対応した。

令和3年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等
4.27	あゆみ田楽会 (中止)
7.28	あゆみエンジョイSummer (あゆみ利用者のみ参加)
10.11	避難訓練
10.25	あゆみスポーツ大会 社会見学 (中止)
10.29	ときわ会の秋まつり (ときわバザー代替行事)
12.21	あゆみクリスマス会
1.19	今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)
1.19	あゆみ新年会
2.24	介護教室 (中止)
3.24	避難訓練

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容
2.1	実 習 [一宮特別支援学校 生徒 1名] [介護者 1名]

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー
	藤まつり (中止)

利用者の状況

令和4年3月31日現在

1 利用者年齢別 (単位:人)

年齢	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～29	2	0	2
30～39	1	1	2
40～49	3	0	3
50～59	0	1	1
60以上	1	0	1
合計	7	2	9

2 障害支援区分 (単位:人)

障害支援区分	男	女	計
6	3	2	5
5	0	0	0
4	3	0	3
3	0	0	0
2	0	0	0
1	0	0	0
非該当	1	0	1
合計	7	2	9

3 利用日数の構成 (単位:人)

利用日数	男	女	計
20日以上	4	1	5
10～19	2	1	3
1～9	1	0	1
合計	7	2	9

1 利用者の事業別利用状況

・事業日数 241日 ・利用延べ人員 1,491人 ・1日あたりの平均利用人員 6.2人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	12	1	5	0	0	2	12	2	12	0	0	2	13
	機能回復訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	40
	家事訓練	1	6	0	0	1	6	1	7	1	8	0	0	1	7
	音楽療法	2	11	0	0	0	0	2	11	2	12	0	0	2	12
	和太鼓療法	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
小計	6	35	1	5	1	6	5	30	5	32	0	0	11	78	
社会適応訓練	パソコン	5	33	1	6	1	6	4	25	3	17	0	0	5	33
	ストレッチ	1	5	1	6	1	5	1	6	1	6	1	6	1	6
	小計	6	38	2	12	2	11	5	31	4	23	1	6	6	39
創作的活動	書画	1	7	0	0	1	7	1	7	0	0	0	0	1	6
	軽作業	21	122	18	101	22	122	18	105	21	107	20	128	22	125
	小計	22	129	18	101	23	129	19	112	21	107	20	128	23	131
	レクリエーション	1	6	1	4	1	6	1	7	1	7	1	5	1	7
入浴サービス	21	87	18	83	22	100	20	98	21	99	20	106	21	112	
送迎サービス	72	179	54	141	70	174	61	153	66	160	63	166	67	167	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康指導	30	30	27	27	23	23	27	27	29	29	27	27	21	21	
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	124	302	100	255	116	303	109	285	117	295	111	304	110	307	
総計	158	504	121	373	142	449	138	458	147	457	132	438	150	555	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの 平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	12	2	12	1	6	0	0	1	4	15	88	5.9
	機能回復訓練	4	31	4	26	1	7	0	0	3	14	17	118	0.0
	家事訓練	1	5	1	7	0	0	0	0	0	0	7	46	6.6
	音楽療法	2	12	2	11	1	4	0	0	2	9	15	82	5.5
	和太鼓療法	1	7	1	5	1	5	0	0	1	4	6	33	5.5
社会適応訓練	小計	10	67	10	61	4	22	0	0	7	31	60	367	6.1
	パソコン	4	25	4	25	1	6	0	0	3	11	31	187	6.0
	ストレッチ	1	6	1	5	1	4	1	5	1	4	12	54	5.3
	小計	5	31	5	30	2	10	1	5	4	15	43	251	5.8
	書画	1	6	1	5	0	0	0	0	0	0	6	38	6.3
創作的活動	軽作業	20	117	19	95	17	79	18	81	22	82	238	1,264	5.3
	小計	21	123	20	100	17	79	18	81	22	82	244	1,302	5.3
	レクリエーション	1	6	1	6	1	6	1	5	1	6	12	71	5.9
総合	入浴サービス	20	105	20	91	18	80	18	60	22	72	241	1,093	4.5(日)
	送迎サービス	69	165	62	154	46	129	45	125	59	143	734	1,856	2.5(回)
	更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	健康指導	24	24	21	21	18	18	21	21	24	24	292	292	1.0(日)
	介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	114	300	104	272	83	233	85	211	106	245	1,279	3,312	
	総計	150	521	139	463	106	344	104	297	139	373	1,626	5,232	

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
休日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
実習	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.1	0.2
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	0.0	0.0